

6月11日(金) ライブ配信日程表

	Zoom Meeting	老年学会		オンデマンド
8:00				
9:00				
10:00		9:30-11:30 合同シンポジウム1 介護保険制度発足 から20年 —高齢者は幸せに なったか—	9:30-11:30 合同シンポジウム2 高齢者 / 認知症の 人に優しいまちづ くり	9:30-11:30 合同シンポジウム3 老年学における実 装研究の可能性 —社会的処方箋を 例に
11:00				
12:00				
13:00		12:50-13:20 会長講演		e-Poster 掲示板方式による 質疑応答
14:00		13:30-14:20 特別講演1		
15:00		14:30-15:00 老年総会		
16:00	14:30~16:30 認定医ポスター審査(指)	15:10-17:10 合同シンポジウム4 認知症の発症や予 後に影響を及ぼす 栄養・食事につい て考える	15:10-17:10 合同シンポジウム5 「何とかしてよ、 ポリファーマ シー！」 —適正化の処方箋 はある!?—	15:10-17:10 合同シンポジウム6 AIは超高齢社会を 救うか
17:00				
18:00				

6月12日(土) ライブ配信日程表

日程表
(12日)

	Line A	Line B	Line C	老年学会	オンデマンド
8:00					
9:00	開会式				
9:10-11:10	特別シンポジウム 〈指〉〈日〉 [人生100年時代に向けての歯科的ロードマップ]	9:00-10:00 優秀ポスター [一般部門] (Live)		9:00-11:00 合同シンポジウム7 一人暮らし高齢者の生活を支える	9:00-11:00 合同シンポジウム8 健康寿命延伸に向けたフレイル・サルコペニア対策 —研究成果から政策へのメッセージ—
10:00		10:10-11:10 優秀ポスター [地域歯科医療部門] (Live)			
11:00					
11:20-12:20	愛知県医師会・愛知県歯科医師会 ジョイントセッション [フレイル予防・介護予防のためのフレイル・認知機能と口腔機能の視点]	11:20-12:20 優秀ポスター [歯科衛生士部門] (Live)	11:30-12:20 スポンサードセッション1 (グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン株式会社)	11:10-12:00 特別講演2	
12:00					
12:30-13:20	特別講演 [食のアーティスト・宮沢賢治～本当の食べものを求めて～]				
13:00					e-Poster 掲示板方式による 質疑応答
13:30-14:20			13:30-14:20 スポンサードセッション2 (株式会社クリニコ)	13:20-15:20 合同シンポジウム9 多死社会におけるエンドオブライフ・ケアを考える —ACPは高齢者を幸せにするか—	13:20-15:20 合同シンポジウム10 「社会的フレイル」の概念および研究と社会実装
14:00	13:40-15:10 シンポジウム1 〈専〉〈日〉 [口腔機能の生理的老化と病的老化]	13:50-14:50 シンポジウム2〈専〉〈日〉 [IoT・AIや遠隔機器を活用した医療・保健活動における関連用語について]			
15:00		15:00-16:30 シンポジウム3 〈指〉〈日〉 3.在宅歯科医療委員会 [ウイズ・コロナにおける新しい在宅歯科医療のあり方]			
15:30-16:20			15:30-16:20 スポンサードセッション3 (パナソニック株式会社)	15:30-17:30 合同シンポジウム11 社会的孤立、8050問題、高齢者虐待 —多様化・複雑化する老いと家族に向き合う—	15:30-17:30 合同シンポジウム12 栄養と健康寿命の延伸に関する研究：基礎から疫学まで
16:00	15:40-17:40 国際シンポジウム 〈専〉〈日〉 [The Role of Gerodontology in the Centenarian Era - Toward the International Consensus -]	16:40-18:00 シンポジウム4 [百寿者 (centenarian) に訊く健康づくり～歯科が支援できることを考える～]			
17:00					
18:00					

6月13日(日) ライブ配信日程表

	Line A	Line B	Line C	老年学会		オンデマンド
8:00						
9:00	9:00-10:15 課題口演 1 地域包括ケアシステム〈指〉 (Live)	8:50-9:50 一般口演 1 〔介護・介護予防, 口腔機能〕 (質疑応答 Live)	9:00-9:40 一般口演 2 〔症例・施設 1〕 (質疑応答 Live)	9:00-11:00 合同シンポジウム 13 ウィズ・アフターコロナ時代の高齢社会の展望	9:00-11:00 合同シンポジウム 14 口腔衛生管理と誤嚥性肺炎 一医・歯・看・介護連携について考えるー	
10:00		9:50-10:50 一般口演 3 〔加齢変化・基礎研究, 全身管理・全身疾患・実態調査〕 (質疑応答 Live)	9:50-10:30 一般口演 4 〔症例・施設 2〕 (質疑応答 Live)			
11:00	10:20-11:35 課題口演 2 口腔機能低下症 (Live)					
12:00		11:10-13:10 歯科衛生士 シンポジウム 〈DH〉 〔認知症の人への歯科衛生士の関わり～口腔健康管理を通して～〕	11:30-12:20 スポンサーD セッション 4 (株式会社松風)	11:10-12:00 特別講演 3		
13:00						e-Poster 掲示板方式による 質疑応答
14:00	13:10-13:50 Meet the President 理事長とランチ & しゃべり場 -ON LINE (広報)			13:20-15:20 合同シンポジウム 15 高齢者と運転 ーハンドルの重みと自立のはざままでー	13:20-14:50 合同シンポジウム 16 老化の統合的理解を目指したマルチモダリティ ーローチ	
15:00	14:00-15:30 シンポジウム 5 〈専〉〈日〉 〔認知症の人の口を支えるために〕	13:50-15:50 シンポジウム 6 〔老年歯科医学の観点からの目指すべき 病院歯科像〕	14:30-15:20 スポンサーD セッション 5 (サンスター株式会社)			14:00-16:30 市民公開講座
16:00	15:40-17:00 シンポジウム 7 〈指〉〈日〉 〔COVID-19 で語ろう ～どう高齢者を支えるのか～〕	15:55-17:20 教育講演 〔Oral health of older people in the United Kingdom and the impact of COVID-19〕		15:30-17:30 合同シンポジウム 17 災害時の高齢者対応 ーその時が来る前にー		
17:00						
18:00	17:30-18:00 表彰式・閉会式					

プログラム



プログラム

〈指〉 認定制度指定研修（申請時指定研修および更新単位）

〈専〉 専門医申請者研修（更新単位ではありません）

〈日〉 日本歯科医師会生涯研修

〈DH〉 日本歯科衛生士会認定更新研修

SL 特別講演

「食のアーティスト・宮沢賢治～本当の食べものを求めて～」

LIVE 6月12日(土) 12:30-13:20 Line A

【講演要旨】

宮沢賢治は、大人から子供まで、幅広い層に知られている作家です。一方で「なんだかよくわからないのです」という声もしばしば耳にします。こんな宮沢賢治の〈食〉に焦点を当てながら、不思議な文学の魅力をご紹介しますと思います。取り扱う作品は、詩「永訣の朝」、童話「銀河鉄道の夜」などです。わずか37才で亡くなった宮沢賢治ですが、彼が残したこれらの作品は大変な〈長寿〉をまっとうしています。〈長寿〉の源にある、賢治文学のエキスを探っていきましょう。

【このセッションに参加すると】

- ・ 宮沢賢治についての新たな知見が得られます。
- ・ 人生における〈食〉について、新たな価値観が得られます。
- ・ 普段何気なく使っている日本語の魅力を改めて再認識する体験が得られます。

座長： 河相 安彦（日本大学松戸歯学部 有床義歯補綴学講座）

演者： ソコロワ山下 聖美（日本大学芸術学部文芸学科）

EL 教育講演

「Oral health of older people in the United Kingdom and the impact of COVID-19」

LIVE 6月13日(日) 15:55-17:20 Line B

【講演要旨】

世界各国で高齢社会が進み、歯科医学においてもその対応が迫られている。本講演では、British Society of Gerodontology を代表して2名の先生に講演をいただく。イギリスでの高齢社会の現状と歯科医療の状況についておよび、COVID-19の感染拡大がどのように影響を及ぼしたのか講演いただく予定である。

【このセッションに参加すると】

- ・ 英国における高齢社会の状況を知ることができます。
- ・ 英国における超高齢社会への歯科における対応を知ることができます。
- ・ 英国におけるCOVID-19感染が老年歯科医学に及ぼした影響と対応について知ることができます。

座長： 松尾 浩一郎（東京医科歯科大学大学院 地域・福祉口腔機能管理学分野）

多田 紗弥夏（Faculty of Dentistry/ National University of Singapore）

演者： 「Improving the oral health of older adults in the united Kingdom」

Vicki Jones and Mili Doshi（British Society of Gerodontology）

JS 愛知県医師会・愛知県歯科医師会ジョイントセッション

「フレイル予防・介護予防のためのフレイル・認知機能と口腔機能の視点」

LIVE 6月12日(土) 11:20-12:20 Line A

【講演要旨】

我が国は世界に先駆けて超高齢社会に突入し、健康寿命延伸への対応が急務である。その目標達成のため限られた財源の中、良質な医療・介護を提供することが求められている。本セッションでは、愛知県医師会と愛知県歯科医師会が独自に取り組んでいる特色のある事業を紹介し、人生100年時代に向けた、フレイル予防・介護予防のためのフレイル・認知機能と口腔機能の視点から、医科歯科連携の共通項を探る議論の場としたい。

【このセッションに参加すると】

- ・我が国の超高齢社会の状況を知ることができます。
- ・愛知県における医師会・歯科医師会の取組を知ることができます。
- ・フレイル予防・介護予防のためのフレイル・認知機能と口腔機能の関わりについて知ることができます。

座長： 武部 純 (愛知学院大学歯学部 有床義歯学講座)
富田 健嗣 (一般社団法人愛知県歯科医師会地域保健部)

演者：「愛知県における75歳以上のフレイルリスク者の現状と愛知県医師会の取り組み」
松浦 誠司 (公益社団法人愛知県医師会)
「口腔機能低下の実態と関連する諸因子」
内堀 典保 (一般社団法人愛知県歯科医師会)

SSY 特別シンポジウム

「人生100年時代に向けての歯科的ロードマップ」

〈指〉〈日〉

LIVE 6月12日(土) 9:10-11:10 Line A

【シンポジウム要旨】

寿命は年々延伸し、人生100年時代が到来すると言われている。来るべき人生100年時代に備え、歯科が「できること」、「できないこと」、「やらなければならないこと」を整理し、患者や家族のみならず様々な職種の協力を得て、それぞれに対策を講じる必要がある。そこで、本企画では、100歳まで口腔機能を維持するために、小児期、成人期、高齢期、要介護期に、それぞれ専門的立場から取るべき歯科戦略について、総合的・俯瞰的に議論する。

【このセッションに参加すると】

このシンポジウムに参加すると、各ライフステージにおける歯科の問題点について基礎知識が身につきます。人生100年時代に備え、介護期を見据えて、小児期(成長発育期)、成人期、高齢期のそれぞれに歯科として何をすべきかについて知識と技能を取得できます。「良好な口腔機能を維持すれば、百寿に貢献できるか？」についてこれまでのエビデンスを理解できるようになります。

座長： 河相 安彦 (日本大学松戸歯学部 有床義歯補綴学講座)
水口 俊介 (東京医科歯科大学大学院 高齢者歯科学分野)

演者：「人生100年時代に向けての歯科的ロードマップの構築と課題」
河相 安彦 (日本大学松戸歯学部 有床義歯補綴学講座)
「人生100年時代に向けて小児期から実践すべき歯科戦略について」
朝田 芳信 (鶴見大学歯学部 小児歯科学講座)

「成人期の歯科（歯周病）の立場から：介護予防としての歯周病治療の必要性と健康寿命延伸へ向けた歯周病抑制」

吉成 伸夫（松本歯科大学 歯科保存学講座（歯周））

「管理栄養士の立場から：超高齢社会における歯科と栄養の連携」

本川 佳子（東京都健康長寿医療センター研究所）

「口腔と長寿の文献レビュー：健康長寿社会の実現を目指す戦略を支える歯科のエビデンスの充実に向けて」

岩崎 正則（東京都健康長寿医療センター研究所）

「高齢者歯科の立場から：超高齢期における歯と口腔機能の問題点」

池邊 一典（大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能再建学講座 有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野）

SY1 シンポジウム 1

「口腔機能の生理的老化と病的老化」

〈専〉〈日〉

LIVE 6月12日(土) 13:40-15:10 Line A

【シンポジウム要旨】

高齢期の機能低下の原因には、「生理的老化」によるものと、「病的老化」によるものがある。口腔機能の低下についても、原因を考察した上で、進行が不可避なもの（進行性疾患、生理的老化を含む）、機能維持可能なもの、回復も見込めるものに区別することができれば、臨床上有用である。そこで、口腔機能の老化のメカニズムを整理し、引き起こされる実際の症状との関係を理解することを目的として、基礎的研究、臨床的研究のそれぞれの専門家によるシンポジウムを企画した。

【このセッションに参加すると】

このシンポジウムに参加すると、老化やフレイル・サルコペニアの基礎知識が身につきます。「生理的老化」と「病的老化」の違いが分かります。口腔機能について、低下が不可避なもの、維持可能なもの、回復も見込めるものに区別できるようになります。診療計画の立案、目標の設定、患者と家族への説明に極めて有用な知識が身につきます。

座長：池邊 一典（大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能再建学講座 有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野）

吉田 光由（広島大学医系科学研究科 先端歯科補綴学）

演者：「生理的・病的老化とフレイル・サルコペニア」

杉本 研（川崎医科大学 総合老年医学）

「加齢に伴う口腔機能低下と大脳皮質機能」

井上 富雄（昭和大学歯学部 口腔生理学講座）

「口腔機能低下症・オーラルフレイルにおける口腔機能の老化の考え方」

上田 貴之（東京歯科大学 老年歯科補綴学講座）

SY2 シンポジウム 2

「IoT・AI や遠隔機器を活用した医療・保健活動における関連用語について」

〈専〉〈日〉

LIVE 6月12日(土) 13:50-14:50 Line B

【シンポジウム要旨】

近年、人工知能（AI）やモノのインターネット（IoT）などのテクノロジーは目覚ましい発展を遂げており、このテクノロジーを医療現場に活用する取り組みが行われている。しかし、メディアなどで知る限りで、テクノロジー関連用語も難解に感じる者も多く、あまり身近に感じられない方も多いのではないだろうか。本シンポジウムではIoT や遠隔システムを活用した地域 / 高齢者保健と地域包括ケアシステムなど歯科医療現場で実際に活用している現場をご紹介します、テクノロジー関連の医療用語を習得し、理解のために企画を行った。

【このセッションに参加すると】

テクノロジー関連用語の基礎知識を習得できます。テクノロジー関連の医療用語の基礎知識を習得できます。IoT や遠隔システムを活用した地域の現状を説明できます。

座長： 大神 浩一郎（東京歯科大学・千葉歯科医療センター）

演者：「口腔リハビリテーション多摩クリニックにおける IoT・AI や遠隔機器を活用した医療・保健活動
日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニックが実践する ICT を用いた教育および診療への応用について」

菊谷 武（日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック）

「歯科診療行為を科学するマイデンタル AI の構築」

野崎 一徳（大阪大学歯学部附属病院）

SY3 シンポジウム 3

「ウィズ・コロナにおける新しい在宅歯科医療のあり方」

〈指〉〈日〉

LIVE 6月12日(土) 15:00-16:30 Line B

【シンポジウム要旨】

在宅歯科医療は、高齢者の生活と生命を支える上で不可欠なものであり、人生 100 年時代へ向けて今後一層の拡充が期待される。しかし、2020 年の COVID-19 の感染蔓延時には、在宅歯科医療が中断され十分に提供されない事例が多く認められ、現在の在宅歯科医療における脆弱性が一部明らかとなったとも言える。そこで本シンポジウムでは、地域性、生活の場の多様性等に配慮しながら、ウィズ・コロナ時代の感染対策にも対応した新しい在宅歯科医療の在り方を模索する。

【このセッションに参加すると】

- ・在宅歯科医療における基本的な感染対策ができるようになる。
- ・COVID-19 の状況に応じた安全で効果的な在宅歯科診療が実施できる。
- ・施設の職員への「安全な口腔ケア」の指導ができる。

座長： 佐藤 裕二（昭和大学歯学部 高齢者歯科学講座）

小玉 剛（公益社団法人 日本歯科医師会）

演者：「「歯科訪問診療における感染予防策の指針 2021 年版」策定の経緯と目的」

猪原 健（敬崇会 猪原歯科・リハビリテーション科）

「「歯科訪問診療における感染予防策の指針 2021 年版」の解説」

河野 雅臣（東京医療保健大学）

「大学の立場から：歯科訪問診療の実態と課題」

菊谷 武（日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック）

「地域歯科クリニックの立場から：歯科訪問診療の実態と課題 ～山梨県・山梨県歯科医師会事業の紹介～」

花形 哲夫（山梨県歯科医師会 花形歯科医院）

SY4 シンポジウム 4

「百寿者 (centenarian) に訊く健康づくり ～歯科が支援できることを考える～」

LIVE 6月12日(土) 16:40-18:00 Line B

【シンポジウム要旨】

本シンポジウムでは、百歳を超えて元気な高齢者に目を向けて、歯科が貢献できることを考える。百寿者には、若い頃からセルフケアに努めて口腔機能や栄養状態が良好な者もいれば、多数歯欠損があり義歯非使用でも食生活やコミュニケーションを楽しんでいる者もいよう。ここではいくつかの症例を通じて、その人の健康や人生を見据えた多職種連携のアプローチを俯瞰し、連携の中における歯科医療者の立ち位置について検討したい。

【このセッションに参加すると】

- ・高齢者の主観的健康感を理解できるようになります。
- ・歯科的に治癒が困難な者への、介護や支援の考え方が身につきます。
- ・多職種連携の基礎知識が身につきます。

座長： 渡部 芳彦 (東北福祉大学健康科学部医療経営管理学科)

演者：「健康長寿のために口腔機能が果たす役割

—TOOTH 研究結果からの考察—

飯沼 利光 (日本大学歯学部 歯科補綴学第I講座)

「高齢者、百寿者の幸福感・心理的 well-being を支える老年的超越」

増井 幸恵 (東京都健康長寿医療センター研究所 福祉と生活ケア研究チーム)

「[8020 その先] — 多職種連携における歯科の立ち位置の視点で考える」

岩佐 康行 (原土井病院 歯科 / 摂食・栄養支援部)

SY5 シンポジウム 5

「認知症の人の口を支えるために」

〈専〉〈日〉

LIVE 6月13日(日) 14:00-15:30 Line A

【シンポジウム要旨】

80歳を超えると急速に認知症の発症率は高まり、その患者数は既に600万人との報告もあります。認知症は認知機能の障害などにより、日常生活に不具合が出てしまうため、歯科治療、口に関するケアの継続が困難になってしまい、最終的には食べる障害が引き起こされてしまうことが少なくありません。歯科医療は認知症の人の様々な歯科疾患に対して、医科歯科連携、病診連携、多職種連携を駆使して対応できているのでしょうか。老年歯科医学会は認知症の歯科医療の責任学会として、人生100年時代にむけた社会構造の変革を考える時が来ています。

新オレンジプランさらには認知症大綱の内容も踏まえつつ、認知症の容態に応じた適宜適切な継続的な口を支える対応に関して本研修会が皆様と考える時間となれば幸いです。

【このセッションに参加すると】

- ・認知症を支援する公的な制度の理解が深まります。
- ・認知症の人の歯科疾患を包括的に支え、生活を支えるための知識が身につきます。

座長： 平野 浩彦 (東京都健康長寿医療センター 歯科口腔外科)

演者：「認知症医療・ケアにおける医科歯科連携・多職種連携」

井藤 佳恵（東京都健康長寿医療センター 認知症支援推進センター）

「令和3年度介護報酬改定からの提言」

高田 淳子（厚生労働省老健局老人保健課）

「認知症の本人と家族が体験した歯科医療、歯科医療が体験した認知症、その先にあるもの」

枝広 あや子（東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と精神保健研究チーム 認知症と精神保健）

「認知症高齢者に対する歯科治療についての診療ガイドラインを用いた歯学部教育」

渡邊 裕（北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室）

SY6 シンポジウム6

「老年歯科医学の観点からの目指すべき病院歯科像」

LIVE 6月13日(日) 13:50-15:50 Line B

【シンポジウム要旨】

高齢者は重篤な疾患に罹患しやすく入院する機会が多くなる。入院が必要な全身状態であると口腔の環境も変化するため、口腔の管理が必要である。病院歯科は高齢者のライフステージの転換期にいち早く関わることができ、その後の生活に大きな影響を与える可能性がある。本企画では、各ステージにおける病院歯科の先駆的な取り組みを紹介し、老年歯科医学の観点から目指すべき病院歯科像を提言し、今後の普及・発展に繋げたい。

【このセッションに参加すると】

病院歯科の先駆的な取り組み方法の知識、地域医療との連携の方法、高齢者対応型病院歯科の重要性に関する知識。

座長：大野 友久（浜松市リハビリテーション病院）

岩佐 康行（原土井病院 歯科 / 摂食・栄養支援部）

演者：「高齢者対応型病院歯科普及の必要性と、回復期病床を持つ病院での歯科の果たすべき役割」

大野 友久（浜松市リハビリテーション病院）

「病院機能とリンクして地域医療に貢献する高齢者歯科を目指して」

岩佐 康行（原土井病院 歯科 / 摂食・栄養支援部）

「周術期口腔管理を通して考える高齢者歯科医療」

松尾 浩一郎（東京医科歯科大学大学院 地域・福祉口腔機能管理学分野）

「市中急性期病院でのリハビリテーション科歯科としての活動、医科歯科連携」

尾崎 研一郎（足利赤十字病院 リハビリテーション科）

「陵北病院における病院歯科活動」

阪口 英夫（医療法人永寿会 陵北病院）

SY7 シンポジウム7

「地域歯科医療シンポジウム：「COVID-19 で語ろう～どう高齢者を支えるのか～」〈指〉〈日〉

LIVE 6月13日(日) 15:40-17:00 Line A

【シンポジウム要旨】

COVID-19 拡大で顕在化した地域口腔保健の課題（キーワード：口腔機能、フレイル、介護予防、後期高齢者歯科検診、在宅診療、歯科医療従事者の生活の変化など）について、現場の意見や経験、成功事例や失敗事例の共有し、歯科医療がどう高齢者を支えるのかを検討したい。

【このセッションに参加すると】

COVID-19 拡大で顕在化した地域口腔保健の課題に関する理解が深まります。

座長： 糸田 昌隆 (大阪歯科大学)
平野 浩彦 (東京都健康長寿医療センター 歯科口腔外科)

演者：「コロナ禍における高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施や介護予防事業の対応」
秋野 憲一 (札幌市保健福祉局)
「都市部においてICTを活用することで多職種連携が奏功してCOVID-19に対処できている例」
高田 靖 (公益社団法人 東京都豊島区歯科医師会)
「訪問病院でのクラスター経験 —地域コミュニティ COVID-19 対応の立場から—」
木村 年秀 (まんのう町国民健康保険造田歯科診療所)
「ECMO センターにおける摂食嚥下リハビリテーションの経験」
梅本 丈二 (福岡大学病院摂食嚥下センター)

ISY 国際シンポジウム

「The Role of Gerodontology in the Centenarian Era - Toward the International Consensus -」
〈専〉〈日〉

LIVE 6月12日(土) 15:40-17:40 Line A

【シンポジウム要旨】

超高齢社会における歯科の役割についての考え方は、日本同様に世界各国でも変化してきていると考えられる。本企画では、人生100年時代における歯科医療がどのように関わるか、MOUを締結しているECGやTAGDの他アメリカSCDから講師を推薦してもらい、JSGからの演者とともWebにて発表および討議を行う。

【このセッションに参加すると】

- ・人生100年時代における歯科医療に対する世界各国の考え方を知ることができます。
- ・各国の超高齢社会への今後の対応を知ることができます。
- ・世界各国の高齢者歯科学に関する基礎知識を得られます。

座長： 松尾 浩一郎 (東京医科歯科大学大学院 地域・福祉口腔機能管理学分野)
多田 紗弥夏 (Faculty of Dentistry/ National University of Singapore)

演者：「Approach to the Centenarian Era from the dentistry in Japan」
渡邊 裕 (北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室 / Gerodontology, Department of Oral Health Science, Faculty of Dental Medicine, Hokkaido University)

「未定」

Murali Srinivasan (Center for Dentistry, University of Zurich)

「The Role of Gerodontology in the Centenarian Era- An USA Contribution to the International Consensus」

Leonardo Marchini (The University of Iowa College of Dentistry and Dental Clinics)

「The Role of Gerodontology in the Centenarian-Era: toward the International Consensus, - “the inductive perspective of Taiwan” -」

Andy Yen-Tung Teng (Taiwan Academy of Geriatric Dentistry (TAGD) & Kaohsiung Medical University, Taiwan, ROC.)

DHSY 歯科衛生士シンポジウム

「認知症の人への歯科衛生士の関わり～口腔健康管理を通して～」

〈DH〉

LIVE 6月13日(日) 11:10-13:10 Line B

【シンポジウム要旨】

歯科衛生士が認知症の人と関わる時に、口腔健康管理と食支援について期待されることが多いのではないだろうか。今回のシンポジウムでは、認知症の進行段階に応じて、歯科衛生士が認知症の人への口腔健康管理を継続する場合どのように対応できるか、実践例を交えて発表していただく。また、人生の最終段階における医療・ケアについて、歯科衛生士の立場で考える機会とする。

【このセッションに参加すると】

- ・ 認知症の原因疾患・進行度を踏まえた、口腔健康管理および食支援における課題を理解できるようになる。
- ・ 日常的に認知症の人への口腔健康管理に関わるシンポジストが実践例を供覧することにより、歯科衛生士の果たす具体的な役割を理解できるようになる。
- ・ エンドオブライフケア、アドバンスドケアプランニングの基礎的な概念を理解することができる。

座長： 藤原 ゆみ （(一社)岡山県歯科衛生士会）
阪口 英夫 （医療法人永寿会 陵北病院）

演者：「歯科衛生士が口腔健康管理という専門性を通じて認知症の人にできること、そして求められていること」

枝広 あや子（東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と精神保健研究チーム 認知症と精神保健）

「地域のつながりで認知症高齢者の「望む暮らし」を守れ！」

丸岡 三紗（まんのう町国民健康保険造田歯科診療所）

「認知症の人への歯科衛生士の関わり～口腔健康管理を通して～」

渡辺 三恵子（世田谷区社会福祉事情団芦花ホーム）

「管理栄養士による在宅の食支援～認知症へのアプローチ～」

時岡 奈穂子（特定非営利活動法人はみんなぐ南河内 認定栄養ケア・ステーションからふる）

Meet the President : 理事長とランチ & しゃべり場 -ON LINE

LIVE 6月13日(日) 13:10-13:50 Line A

【要旨】

日本老年歯科医学会が誇る、多職種の会員と理事長の意見交換を、ランチを取りながらオンラインで行う！この学会からできる企画です。皆様、この機会に、学会に対する要望など理事長と懇談してみませんか？

進行： 水口 俊介 （理事長・東京医科歯科大学）

スポンサーセッション

SS1 スポンサーセッション 1

LIVE 6月12日(土) 11:30-12:20 Line C

「口腔機能を維持増進する義歯と義歯ケア」

演者：水口 俊介 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野)

共催：グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン株式会社

SS2 スポンサーセッション 2

LIVE 6月12日(土) 13:30-14:20 Line C

「チェアサイドで実践する！口腔機能の低下への対応とお食事指導」

座長：渡邊 裕 (北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室)

演者：上田 貴之 (東京歯科大学 老年歯科補綴学講座)

共催：株式会社クリニコ

SS3 スポンサーセッション 3

LIVE 6月12日(土) 15:30-16:20 Line C

「口腔内環境を見える化する—細菌カウンタの臨床応用のすすめ—」

演者：菊谷 武 (日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック)

共催：パナソニック株式会社

SS4 スポンサーセッション 4

LIVE 6月13日(日) 11:30-12:20 Line C

「高齢者の口腔内環境改善を目指した超高齢社会における S-PRG フィラー含有材料の応用」

座長：水口 俊介 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野)

演者：水口 俊介 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野)

猪越 正直 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野)

共催：株式会社松風

SS5 スポンサーセッション 5

LIVE 6月13日(日) 14:30-15:20 Line C

「新型コロナ禍の在宅医療の現場から～医科と歯科のよりよい連携のために～」

座長：中澤 桂一郎 (利根歯科診療所)

演者：佐々木 淳 (医療法人社団 悠翔会)

共催：サンスター株式会社

オンデマンド

合同 3-1(歯) 口腔乾燥感が身体的フレイルの発現に与える影響の検討 —地域在住高齢者における5年間の縦断研究—

- 小原 由紀¹⁾、白部 麻樹^{1,2)}、岩崎 正則¹⁾、枝広 あや子¹⁾、本川 佳子¹⁾、渡邊 裕^{1,3)}、大淵 修一¹⁾、平野 浩彦^{1,4)}

¹⁾ 東京都健康長寿医療センター研究所、²⁾ 東京都介護推進支援センター、

³⁾ 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室、

⁴⁾ 東京都健康長寿医療センター 歯科口腔外科

合同 3-2(歯) 後期高齢者の服薬数と歯科口腔現症・食事状況との関連—後期高齢者歯科口腔健康診査 (LEDO 健診) 解析—

- 齋藤 寿章、富永 一道、西 一也、清水 潤、井上 幸夫

島根県歯科医師会地域福祉部委員会

合同 3-3(歯) 口腔機能低下症とサルコペニアの関連の検討: The Otassha Study

- 釘宮 嘉浩^{1,2)}、岩崎 正則²⁾、小原 由紀²⁾、本川 佳子²⁾、枝広 あや子²⁾、白部 麻樹²⁾、渡邊 裕^{2,3)}、大淵 修一²⁾、平野 浩彦²⁾、上田 貴之¹⁾

¹⁾ 東京歯科大学 老年歯科補綴学講座、²⁾ 東京都健康長寿医療センター研究所、

³⁾ 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室

課題口演 1

地域包括ケアシステム

〈指〉

LIVE 6月13日(日) 9:00-10:15 Line A

課題 1-1 急性期脳卒中患者における退院時の経口摂取状況と口腔機能の関連

- 青柳 三千代^{1,2)}、古屋 純一^{1,3)}、日高 玲奈⁴⁾、松原 ちあき⁵⁾、吉見 佳那子¹⁾、中川 量晴¹⁾、中根 綾子¹⁾、竹内 周平^{2,5)}、水口 俊介⁵⁾、戸原 玄¹⁾

¹⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野、

²⁾ 医療法人社団竹印 竹内歯科医療院、³⁾ 昭和大学歯学部 高齢者歯科学講座、

⁴⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 地域・福祉口腔機能管理学分野、

⁵⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野

課題 1-2 看取り期における在宅がん患者に対する地域連携による口腔健康管理

- 富田 浩子¹⁾、田中 祐子¹⁾、有友 たかね¹⁾、田中 公美¹⁾、佐藤 志穂¹⁾、佐々木 力丸^{1,2)}、菊谷 武^{1,2,3)}、大井 裕子⁴⁾

¹⁾ 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック、

²⁾ 日本歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科、³⁾ 日本歯科大学大学院生命歯学研究科 臨床口腔機能学、

⁴⁾ 社会福祉法人聖ヨハネ会桜町病院

課題 1-3 嚥下訪問診療は地域高齢者の生活の質に良い影響を及ぼす —地域包括ケアにおける新たな歯科医療の役割—

- 石井 美紀、中川 量晴、吉見 佳那子、奥村 拓真、長谷川 翔平、山口 浩平、中根 綾子、戸原 玄

東京医科歯科大学 摂食嚥下リハビリテーション学分野

課題 1-4 地域包括ケア病棟入院患者における口腔環境と在宅復帰困難の関連について

○中村 純也^{1,2)}、芝辻 豪士¹⁾、足立 了平¹⁾

¹⁾ 医療法人社団関田会 ときわ病院 歯科口腔外科、²⁾ 神戸大学大学院保健学研究科 パブリックヘルス専攻

課題 1-5 訪問診療研修にオンラインを用いた学生教育・リカレント教育の有用性

○奥村 拓真、中根 綾子、中川 量晴、石井 美紀、吉田 早織、吉見 佳那子、山口 浩平、戸原 玄

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 医歯学専攻 老化制御学講座 摂食嚥下リハビリテーション学分野

課題口演 2

口腔機能低下症

LIVE 6月13日(日) 10:20-11:35 Line A

課題 2-1 口腔機能低下症に対する継続的な口腔機能管理の効果

○畑中 幸子、古屋 純一、佐藤 裕二、内田 淑喜、大澤 淡紅子、七田 俊晴

昭和大学歯学部 高齢者歯科学講座

課題 2-2 3年間の縦断研究による口腔機能の加齢による影響の検討

○室谷 有紀、八田 昂大、三原 佑介、福武 元良、佐藤 仁美、萩野 弘将、東 孝太郎、高橋 利土、松田 謙一、前田 芳信、池邊 一典

大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能再建学講座 有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野

課題 2-3 歯科医院の外来患者における口腔機能低下症とフレイルの関係

○堀部 耕広¹⁾、久保 慶太郎^{1,2)}、眞田 知基³⁾、河野 立行^{1,4)}、齋藤 壮¹⁾、竜 正大¹⁾、久保 秀二^{1,2)}、上田 貴之¹⁾

¹⁾ 東京歯科大学 老年歯科補綴学講座、²⁾ 久保歯科医院、³⁾ 秋山歯科クリニック、⁴⁾ 河野歯科医院

課題 2-4 開口力は嚥下機能低下の指標として有効である—多施設共同研究の結果より—

○柳田 陵介¹⁾、原 豪志²⁾、中川 量晴¹⁾、並木 千鶴¹⁾、飯田 貴俊³⁾、戸原 雄⁴⁾、玉田 泰嗣⁵⁾、水口 俊介⁶⁾、山口 浩平¹⁾、吉見 佳那子¹⁾、中根 綾子¹⁾、戸原 玄¹⁾

¹⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野、

²⁾ 神奈川歯科大学附属病院 全身管理高齢者歯科、

³⁾ 神奈川歯科大学 全身管理医歯学講座 全身管理高齢者歯科学分野、

⁴⁾ 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック、

⁵⁾ 長崎大学病院 摂食嚥下リハビリテーションセンター、

⁶⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野

課題 2-5 嚥下障害患者における嚥下造影検査で観察される嚥下動態とサルコペニアとの関連性

○宮下 大志¹⁾、菊谷 武^{1,2,3)}、永島 圭悟¹⁾、田中 公美³⁾、田村 文誉^{3,2)}

¹⁾ 日本歯科大学大学院生命歯学研究科 臨床口腔機能学、²⁾ 日本歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科、

³⁾ 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック

一般口演 1

介護・介護予防、口腔機能

LIVE 6月13日(日) 8:50-9:50 Line B

- 01-1 歯ブラシを使用した口腔衛生管理における飛沫予防手技の検証実験
○吉川 浩郎²⁾、内藤 晋一²⁾、清水 潤²⁾、人見 康正²⁾、北村 恵¹⁾
1) 松江地区歯科衛生士会、2) 松江市歯科医師会
- 01-2 高齢フィットネスクラブ会員の身体機能と口腔機能の評価
○隅田 好美¹⁾、頭山 高子²⁾、大西 愛²⁾、福島 正義³⁾
1) 大阪府立大学大学院人間社会システム科学研究科、2) 大阪歯科大学医療保健学部、
3) 昭和村国民健康保険診療所
- 01-3 不顕性誤嚥と咀嚼・嚥下機能との関連
○重本 心平¹⁾、堀 一浩²⁾、大川 純平²⁾、宮島 久¹⁾、小野 高裕²⁾
1) 会津中央病院歯科口腔外科、2) 新潟大学大学院医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野
- 01-4 多職種連携における情報ツールとしての嚥下内視鏡検査と食事風景動画との同時撮影録画システムの構築
○今岡 正晃、奥野 健太郎、小淵 隆一郎、高橋 一也
大阪歯科大学 高齢者歯科学講座
- 01-5 非急性期病院入院高齢者における口腔機能と栄養状態の関連
○太田 緑¹⁾、今村 嘉希²⁾、上田 貴之¹⁾
1) 東京歯科大学 老年歯科補綴学講座、2) 昭和大学歯学部 高齢者歯科学講座
- 01-6 有床義歯補綴治療は口腔機能低下症を改善するか？
○飯塚 晃司¹⁾、五十嵐 憲太郎²⁾、目黒 郁美¹⁾、齋藤 由貴²⁾、鈴木 亜沙子²⁾、伊藤 誠康²⁾、
河相 安彦²⁾
1) 日本大学大学院松戸歯学研究科 有床義歯補綴学、2) 日本大学松戸歯学部 有床義歯補綴学講座

一般口演 2

症例・施設 1

LIVE 6月13日(日) 9:00-9:40 Line C

- 02-1 歯科病院内科クリニックと高齢者歯科との連携によるオーラルフレイルの対応
○古屋 純一¹⁾、佐藤 裕二¹⁾、木庭 新治²⁾、畑中 幸子¹⁾、内田 淑喜¹⁾、大澤 淡紅子¹⁾、
桑澤 実希¹⁾、七田 俊晴¹⁾、馬場 一美³⁾
1) 昭和大学歯学部 高齢者歯科学講座、2) 昭和大学歯科病院内科クリニック、
3) 昭和大学歯学部 歯科補綴学講座
- 02-2 頸椎前方固定術後に嚥下障害を認めた1例 —術前後における運動学的解析—
○吉澤 彰¹⁾、中川 量晴¹⁾、吉見 佳那子¹⁾、石井 美紀¹⁾、並木 千鶴¹⁾、河合 陽介²⁾、
中富 葉奈¹⁾、山口 浩平¹⁾、中根 綾子¹⁾、戸原 玄¹⁾
1) 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野、
2) 足利赤十字病院 リハビリテーション科
- 02-3 大学附属回復期リハビリテーション病院と高齢者歯科との連携
○桑澤 実希¹⁾、古屋 純一¹⁾、佐藤 裕二¹⁾、原 隆蔵¹⁾、向井 友子¹⁾、平良 仁美¹⁾、
松原 こずえ²⁾、幸田 優美²⁾、松浦 光洋²⁾、弘中 祥司³⁾、川手 信行⁴⁾、馬場 一美⁵⁾
1) 昭和大学歯学部 高齢者歯科学講座、2) 昭和大学藤が丘病院歯科・口腔外科、
3) 昭和大学歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座 口腔衛生学部門、
4) 昭和大学医学部 リハビリテーション医学講座、5) 昭和大学歯学部 歯科補綴学講座

02-4 複合型嚥下補助装置作製と栄養介入によりサルコペニアの摂食嚥下障害が改善に至った一症例

○大塚 あつ子^{1,2)}、中澤 悠里^{1,2)}、谷口 裕重²⁾

¹⁾ 医療法人社団登豊会近石病院 歯科・口腔外科、

²⁾ 朝日大学歯学部 口腔病態医療学講座 摂食リハビリテーション学分野

一般口演 3

加齢変化・基礎研究、全身管理・全身疾患、実態調査

LIVE 6月13日(日) 9:50-10:50 Line B

03-1 「水を使わない口腔ケアシステム」を導入して薬剤における費用対効果を検証する

○梶原 美恵子

北九州古賀病院

03-2 The Program of Dental Home Visit in Taiwan - a retrospective analysis

○Kuan-Yu Chu^{1,2)}

¹⁾ Attending physician, Taipei City Hospital, Renai Branch、

²⁾ Assistant Professor, University of Taipei

03-3 アルツハイマー病モデルマウスの三叉神経中脳路核神経細胞におけるアミロイドβの局在と加齢変化について

○後藤 哲哉

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 歯科機能形態学分野

03-4 上顎歯肉の腫脹を契機に発見され、急速な致死性転帰をたどったメトトレキサート関連リンパ増殖性疾患の一例

○河合 紇¹⁾、森 美由紀¹⁾、別府 大嘉繁¹⁾、齋藤 美香¹⁾、大鶴 洋^{1,2)}、織田 麻琴³⁾、
相田 順子³⁾、平野 浩彦¹⁾

¹⁾ 東京都健康長寿医療センター 歯科口腔外科、²⁾ 東京都、

³⁾ 東京都健康長寿医療センター 研究所老年病理学研究チーム

03-5 Update on the oral-medical consortium for the frail elderly in Taiwan: a 2020- update using oral-systemic health and regional MRONJ as examples

○Yen Chun G. Liu^{1,2)}

¹⁾ Center for Osteoimmunology and Biotechnology Research (COBR), Dept. of Oral Hygiene & College of Dental Medicine, Kaohsiung Medical University & Hospital, Taiwan, R.O.C.,

²⁾ Taiwan Academy of Geriatric Dentistry (TAGD), Taiwan, R.O.C.

03-6 地域一般住民における歯科定期受診とアテローム性動脈硬化との関連：大迫研究

○山田 唱¹⁾、小宮山 貴将¹⁾、大井 孝^{1,2)}、村上 任尚^{1,3)}、平塚 貴子¹⁾、三好 慶忠¹⁾、
遠藤 耕生¹⁾、大久保 孝義⁴⁾、服部 佳功¹⁾

¹⁾ 東北大学大学院歯学研究科 リハビリテーション歯学講座 加齢歯科学分野、²⁾ 石巻赤十字病院歯科、

³⁾ 東北医科薬科大学医学部衛生学・公衆衛生学教室、⁴⁾ 帝京大学医学部 衛生学公衆衛生学講座

一般口演 4

症例・施設 2

LIVE 6月13日(日) 9:50-10:30 Line C

- 04-1 舌接触補助症（PAP）の作製前にシリコン印象材による即時 PAP を用いた評価が有用であった症例
 ○佐川 敬一朗^{1,2)}、田村 文誉^{1,2)}、菊谷 武^{1,2,3)}
¹⁾ 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック、²⁾ 日本歯科大学 口腔リハビリテーション科、
³⁾ 日本歯科大学大学院生命歯学研究科 臨床口腔機能学
- 04-2 誤嚥性肺炎を繰り返す患者に対し、多職種連携にて介入し嚥下機能が改善した症例
 ○森田 達¹⁾、中澤 悠里¹⁾、大塚 あつ子¹⁾、近石 壮登¹⁾、谷口 裕重²⁾
¹⁾ 医療法人社団登豊会 近石病院 歯科・口腔外科、²⁾ 朝日大学 摂食嚥下リハビリテーション学分野
- 04-3 口腔内の慢性刺激により生じた腫瘤に対して全身麻酔下での手術が有用であった認知症患者の2症例
 ○本田 健太郎¹⁾、酒井 克彦¹⁾、中島 純子¹⁾、森田 奈那^{1,2)}、小松 万純¹⁾、齋藤 寛一³⁾、
 柴田 力⁴⁾、福澤 幸子⁵⁾、佐々木 研一⁵⁾、蔵本 千夏⁶⁾、野村 武史³⁾、松浦 信幸¹⁾
¹⁾ 東京歯科大学オーラルメディシン・病院歯科学、
²⁾ 公益財団法人 東京都保険医療公社 多摩北部医療センター 歯科口腔外科、
³⁾ 東京歯科大学 口腔腫瘍外科学講座、⁴⁾ しばた歯科、
⁵⁾ 医療法人社団渉仁会 佐々木歯科・口腔顎顔面ケアクリニック、⁶⁾ 医療法人清和会 浅井病院 歯科診療部
- 04-4 眼窩内に炎症が波及した超高齢者の薬剤関連顎骨壊死（MRONJ）の1例
 ○坂詰 博仁¹⁾、高橋 悠²⁾、小林 英三郎²⁾、戸谷 収二³⁾、田中 彰^{1,2)}
¹⁾ 日本歯科大学新潟生命歯学部 顎口腔全身関連治療学、²⁾ 日本歯科大学新潟生命歯学部 口腔外科学講座、
³⁾ 日本歯科大学新潟病院 口腔外科

優秀ポスター

一般部門

LIVE 6月12日（土） 9:00-10:00 Line B

優秀P一般-01 離床する要介護高齢者は筋肉量、生活の質および摂食嚥下機能が維持されるか

- 石井 美紀、中川 量晴、吉見 佳那子、奥村 拓真、長谷川 翔平、原 豪志、山口 浩平、中根 綾子、
 玉井 斗萌、長澤 祐季、吉澤 彰、戸原 玄
 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野

優秀P一般-02 回復期脳卒中患者への義歯補綴治療は栄養状態とADLの改善に関連する—第一報：入院時経口摂取患者—

- 山口 喜一郎、二宮 静香、原田 真澄、久保田 智彦、平塚 正雄
 福岡リハビリテーション病院歯科

優秀P一般-03 要介護高齢者における義歯不使用に関連する因子の検討

- 目黒 郁美¹⁾、小原 由紀²⁾、枝広 あや子²⁾、本川 佳子²⁾、白部 麻樹³⁾、岩崎 正則²⁾、
 五十嵐 憲太郎^{2,4)}、伊藤 誠康⁴⁾、渡邊 裕^{2,5)}、河相 安彦⁴⁾、平野 浩彦^{2,6)}
¹⁾ 日本大学大学院松戸歯学研究科 歯学専攻 有床義歯補綴学、²⁾ 東京都健康長寿医療センター研究所、
³⁾ 東京都健康長寿医療センター研究所 東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター、
⁴⁾ 日本大学松戸歯学部 有床義歯補綴学講座、
⁵⁾ 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室、
⁶⁾ 東京都健康長寿医療センター 歯科口腔外科

優秀P一般-04 なぜ口腔細菌の誤嚥で肺炎が悪化するのか？—歯周病原菌によるMUC5AC発現とムチン産生の誘導—

○今井 健一

日本大学歯学部 細菌学講座

優秀P一般-05 COVID-19感染症重症患者に抜歯を含めた口腔管理を行なった症例

○岡田 光純、久保田 一政、渡辺 昌崇、柳原 有依子、深瀬 円香、山賀 栄次郎、水口 俊介

東京医科歯科大学 高齢者歯科学講座

地域歯科医療部門

LIVE 6月12日(土) 10:10-11:10 Line B

優秀P地域-01 歯科医院通院患者における口腔機能の主観的症状と口腔機能低下症の関連性の検討

○眞田 知基¹⁾、久保 慶太郎^{2,4)}、河野 立行^{3,4)}、齋藤 壮⁴⁾、堀部 耕広⁴⁾、竜 正大⁴⁾、
上田 貴之⁴⁾

¹⁾ 秋山歯科クリニック、²⁾ 久保歯科医院、³⁾ 河野歯科医院、⁴⁾ 東京歯科大学 老年歯科補綴学講座

優秀P地域-02 地域在住の後期高齢者の口腔機能評価に関する横断調査

○石田 健^{1,2)}、和田 誠大²⁾、三原 佑介^{1,2)}、辻岡 義崇²⁾、明間 すずな²⁾、長谷川 大輔²⁾、
豆野 智昭²⁾、八田 昂大²⁾、池邊 一典²⁾

¹⁾ JAみなみ信州歯科診療所、²⁾ 大阪大学大学院歯学研究科 有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野

優秀P地域-03 訪問歯科診療における「液状化検体細胞診(LBC)」の使用経験

○板橋 志保^{1,2)}、岡橋 美奈子¹⁾、岸 さやか¹⁾、阿部 吏芳¹⁾、遠藤 千恵^{1,2)}、小牧 健一朗²⁾、
宮田 英樹²⁾、菅野 和彦²⁾、川俣 富貴子²⁾、小川 匡仁²⁾、長田 純一²⁾、小菅 玲²⁾

¹⁾ (一社) 仙台歯科医師会 在宅訪問・障害者・休日夜間歯科診療所、²⁾ (一社) 仙台歯科医師会

優秀P地域-04 回復期病棟入院高齢者における口腔健康状態不良と食欲低下の関連性

○野本 亜希子^{1,2)}、大野 友久¹⁾、橋詰 桃代¹⁾、波多野 真智子¹⁾、戸原 玄²⁾

¹⁾ 浜松市リハビリテーション病院、

²⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野

優秀P地域-05 地域の歯科医院においてCOVID-19流行により来院を自粛した高齢者の口腔機能の変化

○樋山 めぐみ、村田 尚道、岡本 佳明

医療法人社団湧泉会ひまわり歯科

歯科衛生士部門

LIVE 6月12日(土) 11:20-12:20 Line B

優秀P衛生-01 他職種が評価可能な口腔機能低下の予測因子の探索

○末永 智美^{1,2)}、吉野 夕香^{3,4)}、金本 路²⁾、植木 沢美²⁾、川上 智史⁵⁾、會田 英紀⁶⁾

¹⁾ 北海道医療大学大学院歯学研究科 高齢者・有病者歯科学分野、²⁾ 北海道医療大学在宅歯科診療所、

³⁾ 北海道医療大学大学院歯学研究科 保健衛生学分野、⁴⁾ 北海道医療大学病院医療相談・地域連携室、

⁵⁾ 北海道医療大学 高度先進保存学分野、⁶⁾ 北海道医療大学歯学部 高齢者・有病者歯科学分野

優秀P衛生-02 回復期リハビリテーション病棟における高齢脳卒中患者のADL帰結と舌圧に関する調査

○二宮 静香¹⁾、平塚 正雄¹⁾、原田 真澄¹⁾、山口 喜一郎¹⁾、藤井 航²⁾

¹⁾ 医療法人博仁会 福岡リハビリテーション病院歯科、

²⁾ 九州歯科大学・歯学部・口腔保健学科・多職種連携教育ユニット

優秀P衛生-03 地域在住高齢者における舌圧低下に関連する因子の検討：2年間の縦断研究

- 高橋 知佳¹⁾、岩崎 正則¹⁾、小原 由紀¹⁾、白部 麻樹¹⁾、枝広 あや子¹⁾、本橋 佳子¹⁾、
本川 佳子¹⁾、渡邊 裕²⁾、平野 浩彦¹⁾

¹⁾ 東京都健康長寿医療センター研究所、

²⁾ 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室

優秀P衛生-04 自立高齢者における口腔機能低下症と咀嚼行動：パイロットスタディ

- 畑山 千賀子^{1,2)}、堀 一浩¹⁾、泉野 裕美²⁾、福田 昌代³⁾、澤田 美佐緒³⁾、氏橋 貴子^{1,3)}、
小野 高裕¹⁾

¹⁾ 新潟大学大学院医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野、²⁾ 梅花女子大学看護保健学部口腔保健学科、

³⁾ 神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科

優秀P衛生-05 歯科標榜のない急性期病院での高齢者に対する外科周術期口腔機能管理の取り組みの現状調査

- 中山 良子

岡山市立市民病院 入退院管理支援センター

一般演題 e- ポスター**オンデマンド****一般部門****P一般-001 サクソテストはすべての患者で有効か—非シェーグレン症候群患者における調査—**

- 皆木 瞳^{1,2,3)}、山中 賀恵²⁾、阪井 丘芳²⁾

¹⁾ 岡山大学大学院医歯薬総合研究科 細胞組織学、²⁾ 大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能治療学教室、

³⁾ 学術振興会 特別研究員

P一般-002 唾液腺老化における遺伝子/miRNAの網羅的発現解析

- 吉田 清美¹⁾、Bhawal Ujjal²⁾

¹⁾ 日本大学松戸歯学部 麻酔学講座、²⁾ 日本大学松戸歯学部 生化学・分子生物学講座

P一般-003 規格化された弁当を使用した後期高齢者の摂食機能評価の試み

- 富永 一道、清水 潤、齋藤 寿章、西 一也、井上 幸夫

島根県歯科医師会地域福祉部委員会

P一般-004 パーキンソン病患者における運動機能障害と咀嚼運動との関連性

- 佐野 大成¹⁾、岩下 由樹¹⁾、道津 友里子²⁾、梅本 丈二¹⁾、溝江 千花¹⁾、梅田 愛理¹⁾

¹⁾ 福岡大学病院 摂食嚥下センター、²⁾ 高良台リハビリテーション病院

P一般-005 食道刺激を利用したヒト嚥下運動を誘発する新たな手法の開発—脳梗塞患者を対象とした検討—

- 谷口 裕重¹⁾、岡本 美英子²⁾、中澤 悠里³⁾

¹⁾ 朝日大学 摂食嚥下リハビリテーション学分野、²⁾ 藤田医科大学医学部 歯科・口腔外科、

³⁾ 近石病院 歯科・口腔外科

P一般-006 高齢嚥下障害患者に対し訪問診療と管理栄養士同席のオンライン診療を併用し経口摂取支援を行った症例

- 玉井 斗萌¹⁾、原 豪志²⁾、並木 千鶴¹⁾、中川 量晴¹⁾、中根 綾子¹⁾、山口 浩平¹⁾、
吉見 佳那子¹⁾、戸原 玄¹⁾

¹⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野、

²⁾ 神奈川歯科大学附属病院 全身管理高齢者歯科

P一般-007 新型コロナウイルス感染症流行下におけるオンライン診療に対する意識調査

- 古屋 裕康^{1,2)}、田村 文誉^{1,2)}、田中 公美^{1,2)}、仲澤 裕次郎^{1,2)}、保母 妃美子^{1,2)}、磯田 友子^{1,2)}、田中 祐子¹⁾、山田 裕之^{1,2)}、町田 麗子²⁾、戸原 雄^{1,2)}、菊谷 武^{1,3)}
¹⁾日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック、²⁾日本歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科、
³⁾日本歯科大学大学院生命歯学研究科 臨床口腔機能学

P一般-008 とろみ付き炭酸飲料が嚥下障害患者の嚥下機能に及ぼす効果について

- 齋木 章乃¹⁾、吉見 佳那子¹⁾、中川 量晴¹⁾、長澤 祐季¹⁾、吉澤 彰¹⁾、山田 大志¹⁾、有瀧 航太¹⁾、中根 綾子¹⁾、山口 浩平¹⁾、前田 圭介²⁾、戸原 玄¹⁾
¹⁾東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 医歯学専攻老化制御学講座 摂食嚥下リハビリテーション学分野、
²⁾国立長寿医療研究センター 老年内科部

P一般-009 クロロゲン酸代謝産物によるボルテゾミブ誘発性神経障害の抑制

- 松田 玲於奈¹⁾、田村 暢章¹⁾、竹島 浩¹⁾、坂上 宏²⁾
¹⁾明海大学歯学部 病態診断治療学講座 高齢者歯科学分野、²⁾明海大学歯学部歯科医学総合研究所 (M-RIO)

P一般-010 ビスホスホネート製剤とステロイド製剤がインプラント周囲硬軟組織に与える影響

- 黒嶋 伸一郎、佐々木 宗輝
 長崎大学生命医科学域 口腔インプラント学分野

P一般-011 進行性核上性麻痺患者における嚥下障害出現から胃瘻増設までの経時的変化—3症例の検討—

- 岩下 由樹¹⁾、佐野 大成¹⁾、道津 友里子²⁾、梅本 丈二¹⁾、溝江 千花¹⁾、梅田 愛里¹⁾
¹⁾福岡大学病院 摂食嚥下センター、²⁾高良台リハビリテーション病院

P一般-012 取り下げ**P一般-013 タブレットを用いて撮影した口腔内動画による口腔環境評価の有用性**

- 鈴木 啓之¹⁾、古屋 純一^{2,3)}、中川 量晴³⁾、日高 玲奈⁴⁾、吉見 佳那子³⁾、中根 綾子³⁾、戸原 玄³⁾、水口 俊介¹⁾
¹⁾東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野、²⁾昭和大学歯学部 高齢者歯科学講座、
³⁾東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野、
⁴⁾東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 地域・福祉口腔機能管理学分野

P一般-014 在宅療養高齢者に対する摂食嚥下リハビリテーションとKTバランスチャートによる評価が有用であった1例

- 森豊 理英子、中川 量晴、並木 千鶴、柳田 陵介、戸原 玄
 東京医科歯科大学 老化制御学講座 摂食嚥下リハビリテーション学分野

P一般-015 介護福祉施設入所者における OAG と肺炎死の関係 1年前向きコホート研究中間解析

- 山口 摂崇¹⁾、村松 真澄²⁾、山中 大寛¹⁾、越智 守生¹⁾
¹⁾北海道医療大学、²⁾札幌市立大学

P一般-016 とろみ調整食品が栄養吸収に影響を及ぼす可能性—ラットの発育を観察した基礎的研究—

- 長澤 祐季、中川 量晴、吉見 佳那子、吉澤 彰、玉井 斗萌、山口 浩平、中根 綾子、戸原 玄
 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野

P一般-017 歯学部4年生の生や死に対する意識調査～講義後の変化について

- 遠藤 眞美、野本 たかと
 日本大学松戸歯学部 障害者歯科学講座

P一般-018 患者特性からみた口腔機能低下症, サルコペニア, フレイルの関係

- 西 恭宏¹⁾、山下 裕輔¹⁾、村上 格²⁾、原田 佳枝¹⁾、益崎 与泰¹⁾、峰元 洋光²⁾、堀之内 玲耶¹⁾、池田 菜緒¹⁾、中村 康典³⁾、西村 正宏¹⁾
¹⁾ 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 口腔顎顔面補綴分野、
²⁾ 鹿児島大学病院 成人系歯科センター義歯補綴科、³⁾ 独立行政法人 国立病院機構 鹿児島医療センター

P一般-019 口腔とCOVID-19との関連—歯周病原菌によるACE2と炎症性サイトカインの発現誘導—

- 高橋 佑和^{1,2)}、今井 健一²⁾、飯沼 利光¹⁾
¹⁾ 日本大学歯学部 歯科補綴学第I講座、²⁾ 日本大学歯学部 細菌学講座

P一般-020 地域の歯科専門職および行政との連携によるオーラルフレイル対策への取り組み

- 岡本 美子¹⁾、大河 貴久^{2,3)}
¹⁾ 京都府歯科衛生士会北支部、²⁾ 京都市北歯科医師会、³⁾ 大阪歯科大学 有歯補綴咬合学講座

P一般-021 多系統萎縮症患者の経口摂取を支援し看取りまでQOLの維持できた症例

- 長瀬 麻樹¹⁾、郷田 瑛¹⁾、木下 有文¹⁾、徳永 淳二¹⁾、松原 ちあき²⁾、古屋 純一³⁾
¹⁾ 逗子メディスタイルクリニック、²⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野、
³⁾ 昭和大学歯学部 高齢者歯科学講座

P一般-022 認知症のかたと介護者が気軽に立ち寄れる認知症カフェにおいて歯科は貢献できるのか?

- 河相 ありみ
 NPO 法人介護者サポートネットワークセンター・アラジン

地域歯科医療部門

P一般-023 地域歯科クリニックと病院とがシームレスに連携し、食支援を行った事例

- 尾上 庸恵¹⁾、加藤 理子²⁾、齋藤 貴之¹⁾
¹⁾ ごはんがたべたい歯科クリニック、²⁾ ねりま健育会病院

P一般-024 AHN導入終末期患者で、多職種と連携しながらナラティブなアプローチで経口摂取の可能性を検討した症例

- 岩男 恵理子¹⁾、大保 直道²⁾、中尾 祐³⁾
¹⁾ 医療法人福和会 和泉二島予防歯科クリニック、²⁾ 行橋グリーン歯科医院、³⁾ 別府歯科医院

P一般-025 地域歯科医師会に対するオンラインを用いた摂食嚥下障害の臨床研修の取り組み

- 並木 千鶴^{1,3)}、原 豪志²⁾、玉井 斗萌¹⁾、長谷川 智子³⁾、出浦 恵子⁴⁾、川勝 美里¹⁾、石川 潤³⁾、野原 通³⁾、戸原 玄¹⁾
¹⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野、
²⁾ 神奈川歯科大学付属病院 全身管理高齢者歯科、³⁾ 医療法人財団聖蹟会埼玉県央病院 歯科口腔外科、
⁴⁾ 埼玉県歯科医師会

P一般-026 島根県後期高齢者歯科口腔健診用グミ(ファイン組[®])と口腔機能低下症診断用グミとの比較検討

- 清水 潤、富永 一道、齋藤 寿章、西 一也、井上 幸夫
 島根県歯科医師会地域福祉部委員会

P一般-027 訪問歯科診療によって急性期から在宅へと継続した食支援を行えた3症例

- 正國 光一¹⁾、迫田 敏¹⁾、関本 愉³⁾、荒井 昌海²⁾、松尾 浩一郎³⁾
¹⁾ 医療法人さこだ歯科医院、鹿児島県、²⁾ エムズ歯科クリニック、東京都、
³⁾ 藤田医科大学医学部歯科・口腔外科学講座

P一般-028 一般歯科診療所の外来受診高齢患者の口腔内状態に関する調査—歯数と義歯使用に注目して—

○朝田 和夫¹⁾、呉 明憲¹⁾、長野 雅一¹⁾、朝田 真理¹⁾、竹川 ひとみ¹⁾、遠藤 眞美²⁾、野本 たかと²⁾

¹⁾ 東京都 医療法人社団 進和会 あさだ歯科口腔クリニック、²⁾ 日本大学松戸歯学部 障害者歯科学講座

P一般-029 口腔乾燥症及びその他口腔疾患を抱えた通院患者に対して口腔衛生管理を行った症例

○徳竹 宏保¹⁾、真鍋 果歩²⁾

¹⁾ 徳竹歯科医院、²⁾ 株式会社ニッシン

P一般-030 抗精神病薬や抗うつ薬を内服している患者に対する局所麻酔が循環動態に与える影響

○大内 謙太郎、上野 陽子、鈴木 宏樹、陣内 暁夫

医療法人井上会 篠栗病院 歯科

P一般-031 収縮期圧 58mmHg の低血圧患者に対し、2次医療機関で全身管理下に歯科治療を行った2症例

○間宮 秀樹、堀本 進、高橋 恭彦、菊地 幸信、平野 昌保、平山 勝徳、秋本 覚、小林 利也、和田 光利、片山 正昭

藤沢市歯科医師会

P一般-032 地域在住者におけるオーラルフレイルと口腔機能低下症についての検討

○靄岡 祥子¹⁾、高守 史子²⁾、山下 佳雄³⁾

¹⁾ 佐賀市立国民健康保険三瀬診療所、²⁾ 佐賀大学医学部附属病院 臨床研究センター、

³⁾ 佐賀大学医学部 歯科口腔外科学講座

歯科衛生士部門

P一般-033 注水の代替として口腔ケアジェルを使用し超音波スケーラーによる歯石除去をベッド上で実施した症例

○波多野 真智子¹⁾、橋詰 桃代¹⁾、野本 亜希子²⁾、大野 友久²⁾

¹⁾ 浜松市リハビリテーション病院 リハビリテーション部、²⁾ 浜松市リハビリテーション病院 歯科

P一般-034 療養型病床施設における骨吸収抑制薬投与患者と薬剤関連顎骨壊死の関連について

○板木 咲子¹⁾、金久 弥生²⁾、平岡 綾³⁾、山脇 加奈子¹⁾、田地 豪⁴⁾、吉川 峰加³⁾

¹⁾ 医療法人ピーアイエー、²⁾ 明海大学保健医療部 口腔保健学科、

³⁾ 広島大学大学院医系科学研究科 先端歯科補綴学研究室、

⁴⁾ 広島大学大学院医学系研究科 口腔生物工学研究室

P一般-035 非経口摂取患者における口腔衛生管理後の口腔内湿潤経過と全身状態の関連

○柴田 佳苗^{1,2)}、中村 あかり¹⁾、田村 暁子^{1,3)}、近藤 祐介³⁾、正木 千尋³⁾、細川 隆司³⁾、藤井 航⁴⁾

¹⁾ 済生会八幡総合病院、²⁾ 九州歯科大学大学院歯学研究科 口腔保健学専攻、

³⁾ 九州歯科大学 口腔再建リハビリテーション学分野、⁴⁾ 九州歯科大学 多職種連携教育ユニット

P一般-036 診療室でメンテナンス中に口腔機能低下症の管理を行った1例(第1報)

○三角 洋美

青山歯科室

P一般-037 当院における周術期等口腔機能管理と COVID-19 感染防御対策

○梅田 愛里¹⁾、溝江 千花¹⁾、佐野 大成²⁾、岩下 由樹²⁾、梅本 丈二²⁾

¹⁾ 福岡大学病院 歯科口腔外科、²⁾ 福岡大学病院 摂食嚥下センター

P一般-038 介護士の口腔環境に対するモチベーションの維持にリモートセミナーが貢献した2例

- 常清 美佑¹⁾、縄田 和歌子¹⁾、中島 正人²⁾、堤 貴司²⁾、森田 浩光²⁾、牧野 路子²⁾
¹⁾ 福岡歯科大学医科歯科総合病院 歯科衛生士部、²⁾ 福岡歯科大学総合歯科学講座 訪問歯科センター

口腔機能

P一般-039 中年期・老年期患者の口腔機能に対する関心度と口腔機能状態の関連性

- 中田 悠¹⁾、柗木 雄一²⁾、大久保 真衣³⁾、渡部 友莉³⁾、杉山 哲也⁴⁾、小林 健一郎²⁾、石田 瞭³⁾
¹⁾ 東京歯科大学短期大学、²⁾ こばやし歯科クリニック、
³⁾ 東京歯科大学 口腔健康科学講座 摂食嚥下リハビリテーション研究室、
⁴⁾ 東京歯科大学千葉歯科医療センター 総合診療科

P一般-040 後期高齢者におけるセルフチェック表によるオーラルフレイルの頻度

- 福武 元良、高橋 利士、三原 佑介、八田 昂大、西村 優一、佐藤 仁美、室谷 有紀、萩野 弘将、東 孝太郎、池邊 一典
 大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能再建学講座 有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野

P一般-041 菓子を用いた咀嚼訓練が高齢者の咬合力に及ぼす影響

- 西崎 仁美、飯田 貴俊、林 恵美、美久月 瑠宇、田中 洋平、杉山 俊太郎、辰野 雄一、原 豪志、森本 佳成
 神奈川歯科大学

P一般-042 包括的な認知機能評価に基づき診断された軽度認知機能障害患者における口腔機能低下症の実態調査

- 鈴木 啓之¹⁾、古屋 純一^{2,3)}、松原 ちあき¹⁾、日高 玲奈⁴⁾、戸原 玄³⁾、佐藤 裕二²⁾、水口 俊介¹⁾
¹⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野、²⁾ 昭和大学歯学部 高齢者歯科学講座、
³⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野、
⁴⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 地域・福祉口腔機能管理学分野

連携医療・地域医療

P一般-043 地域共生社会における老々介護へのシームレスケアの提供に困難さがみられた1例

- 市川 一國、田中 陽子、矢口 学、野本 たかと
 日本大学松戸歯学部 障害者歯科学講座

P一般-044 地域歯科医師会と歯学部附属病院間で実施した摂食嚥下障害に対するオンライン診療の試み

- 出浦 恵子¹⁾、原 豪志²⁾、並木 千鶴³⁾、玉井 斗萌³⁾、戸原 玄³⁾、小宮山 和正¹⁾
¹⁾ 埼玉県歯科医師会、²⁾ 神奈川歯科大学附属病院 全身管理医歯学 摂食嚥下外来、
³⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野

P一般-045 退院支援過程において医療ソーシャルワーカーの歯科疾患に対する理解度が課題となった一例

- 吉野 夕香^{1,2)}、末永 智美^{3,4)}、金本 路³⁾、植木 沢美³⁾、會田 英紀⁵⁾、川上 智史⁶⁾
¹⁾ 北海道医療大学病院 医療相談・地域連携室、²⁾ 北海道医療大学大学院歯学研究科 保健衛生学分野、
³⁾ 北海道医療大学在宅歯科診療所、⁴⁾ 北海道医療大学大学院歯学研究科 高齢者・有病者歯科学分野、
⁵⁾ 北海道医療大学歯学部 高齢者・有病者歯科学分野、⁶⁾ 北海道医療大学歯学部 高度先進保存学分野

P一般-046 かかりつけ歯科としての対応が多職種連携を円滑にさせた歯肉癌の一例

- 中村 弘之
 ナカムラ歯科医院

実態調査

P一般-047 認知機能の低下を認める自立高齢者の口腔関連 QOL について

- 豊下 祥史¹⁾、佐々木 みづほ¹⁾、菅 悠希¹⁾、川西 克弥¹⁾、原 修一²⁾、三浦 宏子³⁾、越野 寿¹⁾
¹⁾ 北海道医療大学歯学部 咬合再建補綴学分野、²⁾ 九州保健福祉大学保健科学部言語聴覚療法学科、
³⁾ 北海道医療大学歯学部 保健衛生学分野

P一般-048 介護老人保健施設入所者の食事形態低下に関する要因の検討

- 鈴木 史彦、北條 健太郎、渡邊 聡、渡部 議之、鈴木 海路
奥羽大学歯学部附属病院 地域医療支援歯科

P一般-049 要介護高齢者施設における経口維持支援に関する実態調査

- 大平 真理子^{1,2)}、高市 真之²⁾、田坂 彰規¹⁾、高松 ユミ²⁾、高根 宏³⁾、山下 秀一郎¹⁾
¹⁾ 東京歯科大学 パーシャルデンチャー補綴学講座、²⁾ 高根病院 歯科、³⁾ 高病院 外科

P一般-050 都市部在住認知症高齢者に対する訪問口腔調査 1～社会的孤立状態の人へのアプローチ～

- 枝広 あや子¹⁾、本橋 佳子¹⁾、宇良 千秋¹⁾、高橋 知佳¹⁾、目黒 郁美²⁾、高城 大輔³⁾、
紙本 千晶⁴⁾、深澤 佳世⁵⁾、木元 あすか⁶⁾、星野 大地⁷⁾
¹⁾ 東京都健康長寿医療センター研究所、²⁾ 日本大学大学院松戸歯学研究科 歯学専攻 有床義歯補綴学、
³⁾ ひまわり歯科、⁴⁾ 曙橋歯科、⁵⁾ 新宿医療専門学校、⁶⁾ 板橋区立志村健康福祉センター、
⁷⁾ 昭和大学歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座 地域連携歯科学部門

P一般-051 都市部在住認知症高齢者に対する訪問口腔調査 2～COVID-19 流行下での実態～

- 本橋 佳子¹⁾、枝広 あや子¹⁾、高橋 知佳¹⁾、目黒 郁美²⁾、高城 大輔³⁾、紙本 千晶⁴⁾、
深澤 佳世⁵⁾、木元 あすか⁶⁾、星野 大地⁷⁾、宇良 千秋¹⁾
¹⁾ 東京都健康長寿医療センター研究所、²⁾ 日本大学大学院松戸歯学研究科 歯学専攻 有床義歯補綴学、
³⁾ ひまわり歯科、⁴⁾ 曙橋歯科、⁵⁾ 新宿医療専門学校、⁶⁾ 板橋区立志村健康福祉センター、
⁷⁾ 昭和大学歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座 地域連携歯科学部門

P一般-052 当院歯科における後期高齢者の実態調査 第二報

- 西澤 光弘¹⁾、荒木 俊樹²⁾
¹⁾ 医療法人群栄会田中病院 歯科、²⁾ 荒木歯科医院

P一般-053 高齢者における唾液検査装置に関する調査—口腔内の検査項目と多項目唾液検査結果の比較—

- 松原 ちあき¹⁾、白部 麻樹^{1,2)}、古屋 純一³⁾、渡邊 裕^{2,4)}、本川 佳子²⁾、枝広 あや子²⁾、
小原 由紀²⁾、岩崎 正則²⁾、大淵 修一²⁾、平野 浩彦²⁾、水口 俊介¹⁾
¹⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 医歯学専攻 高齢者歯科学分野、
²⁾ 東京都健康長寿医療センター、³⁾ 昭和大学歯学部 高齢者歯科学講座、
⁴⁾ 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室

P一般-054 回復期リハビリテーション病院における入院時歯科検診の役割

- 高木 幸子¹⁾、竹田 智帆^{1,2)}、吉田 光由^{1,2)}、津賀 一弘¹⁾
¹⁾ 広島市立リハビリテーション病院 歯科、²⁾ 広島大学大学院医系科学研究科 先端歯科補綴学

加齢変化・基礎研究

P一般-055 咬合不正により引き起こされる認知症誘発物質の発現増加について

- 前芝 宗尚¹⁾、堤 貴司²⁾、吉田 兼義¹⁾、長谷 英明¹⁾、木山 賢歩¹⁾、都築 尊¹⁾
¹⁾ 福岡歯科大学 咬合修復学講座 有床義歯学分野、²⁾ 福岡歯科大学総合歯科学講座訪問歯科センター

P一般-056 Photogrammetryによる顎顔面モデルの構築と3Dプリントモデルの再現性評価○峯 裕一¹⁾、田地 豪²⁾、吉岡 玲奈¹⁾、和智 貴紀³⁾、村山 長¹⁾¹⁾ 広島大学大学院医系科学研究科 歯学分野医療システム工学、²⁾ 広島大学大学院医系科学研究科 歯学分野口腔生物工学、³⁾ 九州大学大学院歯学研究院 口腔機能修復学講座 クラウンブリッジ補綴学**P一般-057 高濃度BP製剤が抜歯窩硬軟組織の治癒に与える影響**○小堤 涼平¹⁾、黒嶋 伸一郎²⁾、佐々木 宗輝²⁾¹⁾ 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 口腔インプラント学分野、²⁾ 長崎大学 生命医科学域口腔インプラント学分野**P一般-058 要介護高齢者の食欲と嗅覚、味覚、薬剤に関する調査**○金子 信子^{1,2)}、野原 幹司³⁾、有川 英里³⁾、山口 高秀²⁾、光山 誠⁴⁾、阪井 丘芳³⁾¹⁾ 学校法人平成医療学園なにわ歯科衛生専門学校、²⁾ 医療法人おひさま会 おひさまクリニック、³⁾ 大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能治療学教室、⁴⁾ 医療法人敬英会**P一般-059 温度とpHは口腔保湿剤の抗真菌性に影響を及ぼす**○村上 格¹⁾、原田 佳枝²⁾、元山 彩良²⁾、西 恭宏²⁾、西村 正宏²⁾¹⁾ 鹿児島大学病院義歯補綴科、²⁾ 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 口腔顎顔面補綴学分野**P一般-060 ランソプラゾールおよびゾレドロン酸投与マウスの抜歯窩解析**○吉岡 玲奈¹⁾、峯 裕一¹⁾、和智 貴紀²⁾、二川 浩樹³⁾、村山 長¹⁾¹⁾ 広島大学医系科学研究科 歯学分野医療システム工学、²⁾ 九州大学大学院歯学研究院 口腔機能修復学講座 クラウンブリッジ補綴学、³⁾ 広島大学大学院医系科学研究科 歯学分野口腔生物工学**P一般-061 DNA損傷誘発性細胞老化におけるオートファジーの役割**○吉田 瑞姫^{1,2)}、山口 真広¹⁾、内藤 徹¹⁾¹⁾ 福岡歯科大学高齢者歯科、²⁾ 福岡歯科大学口腔医学研究センター**全身管理・全身疾患****P一般-062 大動脈弁閉鎖不全症術後患者の歯科治療時の血圧変動と降圧剤の関連を調査した1例**

○上野 陽子、大内 謙太郎、鈴木 宏樹、陣内 暁夫

医療法人井上会 篠栗病院 歯科

P一般-063 肺炎で入棟中に摂食嚥下障害対策チームに介入を依頼された症例の検討

○北川 栄二

JR 札幌病院 歯科口腔外科

教育**P一般-064 コロナ窩で介護老人福祉施設研修に非接触型研修を行った効果**

○立松 正志

クリニックサンセール清里

P一般-065 オンラインPBL (Problem Based Learning) による高齢者・在宅歯科治療学の臨床実習

○宇佐美 博志、村上 弘、竹内 一夫、水野 辰哉、宮前 真、高濱 豊、加藤 大輔、

上野 温子、山口 大輔、瀧井 泉美、宮本 佳宏

愛知学院大学歯学部 高齢者・在宅歯科医療学講座

P一般-066 コロナ禍でも対応可能なオンラインでの高齢者疑似体験実習プログラム

- 猪越 正直、上田 圭織、清水畑 誠、本村 一郎、山本 真央、大沼 啓、渡辺 昌崇、清水 健登、久保田 一政、水口 俊介
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野

P一般-067 VR画像を用いた歯学部学生における臨床実習の効果について

- 仲澤 裕次郎¹⁾、田中 公美¹⁾、横田 悠里¹⁾、佐川 敬一郎¹⁾、古屋 裕康¹⁾、磯田 友子¹⁾、保母 妃美子¹⁾、山田 裕之¹⁾、戸原 雄¹⁾、田村 文誉^{1,2)}、菊谷 武^{1,2,3)}
¹⁾日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック、²⁾日本歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科、³⁾日本歯科大学大学院生命歯学研究科 臨床口腔機能学

症例・施設

P一般-068 2種類の硬さの粘膜調整材を用いて舌接触補助床の口蓋形成を行った症例

- 永尾 寛、藤本 けい子、後藤 崇晴、市川 哲雄
徳島大学大学院医歯薬学研究部 口腔顎顔面補綴学分野

P一般-069 上顎骨膜下インプラントの維持管理が困難だった認知症患者の1例

- 松田 捺美、松下 貴恵、近藤 美弥子、岡田 和隆、山崎 裕、渡邊 裕
北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室

P一般-070 歯科衛生士による訪問指導で栄養状態の回復に寄与した症例

- 関 麻衣子¹⁾、戸原 雄²⁾、福井 智子¹⁾、加藤 真莉¹⁾、飯島 裕之¹⁾
¹⁾杉並区歯科保健医療センター、²⁾日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック

P一般-071 デンチャースペースを想定して補綴主導の骨隆起形成術を施行した高齢患者の1例

- 木村 千鶴、岡田 和隆、馬場 陽久、渡邊 裕、山崎 裕
北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室

P一般-072 摂食機能療法と顎補綴により経口摂取を再開した症例

- 朝比奈 伯明、田村 瞬至、朝比奈 滉直、村上 康彦、望月 慎恭、齋島 弘之
松本歯科大学 地域連携歯科学講座

P一般-073 多発性骨髄腫治療中に薬剤関連顎骨壊死(MRONJ)により顎骨が自然露出したと考えられる一例

- 服部 馨、原田 枝里、高澤 理奈、久野 彰子
日本医科大学付属病院 口腔科

P一般-074 認知症患者の全身麻酔下歯科治療経験

- 旭 吉直^{1,2)}、畑中 有希^{1,2)}、宮本 順美^{1,2)}、大道 士郎^{1,2)}
¹⁾社会医療法人大道会森之宮病院、²⁾社会医療法人大道会ボバース記念病院

P一般-075 下咽頭がん術後後遺症による摂食嚥下障害患者に対して耳鼻科医と連携した症例

- 進藤 彩花、草野 緑、上田 智也、岡澤 仁志、大岡 貴史
明海大学歯学部 機能保存回復学講座 摂食嚥下リハビリテーション学分野

P一般-076 口腔底がん術後後遺症による摂食嚥下障害患者に対して術後経口摂取指導した症例

- 上田 智也、岡澤 仁志、草野 緑、進藤 彩花、大岡 貴史
明海大学歯学部 機能保存回復学講座 摂食嚥下リハビリテーション学分野

P一般-077 口腔底癌術後に対して下顎全被覆型 LAP を作製した1例

- 寺中 智、尾崎 研一郎、河合 陽介、堀越 悦代
足利赤十字病院 リハビリテーション科

P一般-078 巨大な口蓋腫瘍摘出後の軟口蓋欠損に対し嚥下訓練のみで経口摂取可能になった1症例

- 岩田 雅裕
サンスデンタルクリニック

P一般-079 ALS患者に軟口蓋挙上装置と舌接触補助床の混合装置を装着することでQOLの維持を図った1症例

- 小林 琢也¹⁾、島田 崇史¹⁾、米澤 紗織²⁾、米澤 悠²⁾、近藤 尚知²⁾
¹⁾ 岩手医科大学歯学部 補綴・インプラント学講座 摂食嚥下・口腔リハビリテーション学分野、
²⁾ 岩手医科大学歯学部 補綴・インプラント学講座 補綴・インプラント学分野

P一般-080 訪問診療で遭遇した歯肉癌患者への対応の一例 ～訪問診療における細胞診の活用～

- 内田 翔¹⁾、鈴木 典子¹⁾、大房 航¹⁾、赤松 那保¹⁾、石川 達哉¹⁾、朝倉 俊¹⁾、小山 立子¹⁾、
飯田 良平^{1,2)}、齊藤 理子²⁾、菅 武雄¹⁾
¹⁾ 鶴見大学歯学部 高齢者歯科学講座、²⁾ ヒューマンデンタルクリニック

P一般-081 超選択的動注化学放射線療法を行った高齢下唇癌患者の1例

- 高橋 悠¹⁾、小根山 隆浩²⁾、佐久間 要¹⁾、田中 彰¹⁾
¹⁾ 日本歯科大学新潟生命歯学部 口腔外科学講座、²⁾ 日本歯科大学新潟病院 口腔外科

P一般-082 Aripiprazole 内服後に咽頭分泌物増加を認めた口腔異常感を伴う摂食嚥下障害患者の1例

- 美久月 瑠宇¹⁾、西崎 仁美¹⁾、辰野 雄一¹⁾、杉山 俊太郎¹⁾、田中 洋平²⁾、林 恵美¹⁾、
原 豪志²⁾、飯田 貴俊¹⁾、森本 佳成¹⁾
¹⁾ 神奈川歯科大学大学院歯学研究科 全身管理医歯学講座 全身管理高齢者歯科学分野、
²⁾ 神奈川歯科大学附属病院 全身管理高齢者歯科

その他

**P一般-083 オーラルフレイルと全身状態との関連性に関する研究
第4報 口腔指標と全身指標の多変量解析の検討**

- 野澤 一郎太、藤原 基、堤 一輝、玉置 勝司
神奈川歯科大学 口腔統合医療学講座

P一般-084 プロポリスの高齢者口腔細菌叢に与える影響

- 並河 大裕¹⁾、眞砂 彩子¹⁾、南部 隆之²⁾、沖永 敏則²⁾、高橋 一也¹⁾
¹⁾ 大阪歯科大学 高齢者歯科学講座、²⁾ 大阪歯科大学 細菌学講座

P一般-085 愛知県歯科医師会における歯科医師認知症対応力向上研修事業への取組

- 森田 知臣、富田 健嗣、小島 広臣、富田 喜美雄、南 全、中井 雅人、鈴木 雄一郎、粉山 正敬、
武藤 直広、上野 智史、小川 雄右、杉山 明聡、森 幹太、渡邊 俊之、徳丸 啓二、内堀 典保
一般社団法人愛知県歯科医師会

**P一般-086 初診・再初診者に対する基本チェックリストを用いたフレイル評価と口腔機能精密検査を実施した
状況報告**

- 榎木 雄一¹⁾、島田 星羅¹⁾、杉崎 拓也¹⁾、續木 アナスタシア¹⁾、井上 高暢^{1,2)}、森 由香里¹⁾、
小瀬木 美香¹⁾、若杉 好彦¹⁾、櫻井 薫¹⁾、小林 健一郎¹⁾
¹⁾ こばやし歯科クリニック、²⁾ デジタルハリウッド大学院

P一般-087 Oral Health and Medical Expenses In Dementia Population

○ YIPANG LEE^{1,2,3)}

¹⁾ Department of Dentistry, Hualien Tzu Chi Hospital, Buddhist Tzu Chi Medical Foundation, Hualien, Taiwan,

²⁾ Division of Oral pathology, department of dentistry, Hualien Tzu Chi Hospital, Buddhist Tzu Chi Medical Foundation, Hualien, Taiwan,

³⁾ Department of Health Administration, Tzu Chi University of Science and Technology, Hualien, Taiwan

P一般-088 The research of surface degradation effects of carbonated soft drinks on elderly's resin-based removable denture

○ Tseng Chung-Chih

Zuoying Branch of Kaohseung Armed Forces General Hospital, Taiwan, R.O.C.

認定医審査ポスター

〈指〉

LIVE 6月11日(金) 14:30-16:30

認定 P-01 訪問診療先の高齢者に対し摂食嚥下障害および口腔機能の改善を図った1症例

○片山昇¹⁾、村田比呂司²⁾

¹⁾ 医療法人宇治山田歯科医院、²⁾ 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 歯科補綴学分野

認定 P-02 姿勢調整によって嚥下障害の改善を認めた1症例

○増田貴行^{1,2)}、高橋一也¹⁾

¹⁾ 大阪歯科大学 高齢者歯科学講座、²⁾ 増田歯科医院

認定 P-03 重度認知症患者に干渉波感覚刺激を行い、嚥下機能が改善した一例

○原良子、中根綾子

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野

認定 P-04 パーキンソン病の診断時にすでに重度嚥下障害を呈していた症例

○松村えりか¹⁾、野原幹司²⁾

¹⁾ 大阪大学歯学部附属病院 顎口腔機能治療部、²⁾ 大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能治療学教室

認定 P-05 胃瘻造設患者の胃食道逆流への対処に苦慮した一症例

○緒方真弓^{1,2)}、石田瞭³⁾

¹⁾ 緒方歯科医院、²⁾ 東京歯科大学千葉歯科医療センター、³⁾ 東京歯科大学

認定 P-06 抗精神病薬の長期内服で嚥下機能が低下し、胃瘻造設に至った統合失調症患者の経口摂取支援

○奥村拓真、戸原玄

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 医歯学専攻 老化制御学講座 摂食嚥下リハビリテーション学分野

認定 P-07 口腔機能低下症に対し栄養指導と機能訓練を行った一例

○後藤由和¹⁾、両角祐子²⁾

¹⁾ 日本歯科大学新潟病院 訪問歯科口腔ケア科、²⁾ 日本歯科大学新潟生命歯学部 歯周病学講座

認定 P-08 顎関節骨折をきっかけにサルコペニアによる摂食嚥下障害が顕在化した一例

○宮下大志¹⁾、菊谷武^{1,2,3)}

¹⁾ 日本歯科大学大学院生命歯学研究科 臨床口腔機能学、²⁾ 日本歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科、

³⁾ 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック

- 認定 P-09 左側上顎顎欠損の左側半側麻痺患者に口腔機能を考慮して顎補綴治療を行った一症例**
 ○荻野 洋一郎^{1,2)}、柏崎 晴彦^{1,3)}
¹⁾九州大学病院歯科部門、
²⁾九州大学病院歯科部門九州大学大学院歯学研究院 口腔機能修復学講座 クラウンブリッジ補綴学分野、
³⁾九州大学大学院歯学研究院 口腔顎顔面病態学講座 高齢者歯科学・全身管理歯科学分野
- 認定 P-10 口腔機能低下症と低栄養を疑う高齢者に義歯製作により改善を試みた症例**
 ○島田 昂¹⁾、柏崎 晴彦²⁾
¹⁾島田歯科医院、²⁾九州大学大学院歯学研究院 口腔顎顔面病態学講座 高齢者歯科学・全身管理歯科学分野
- 認定 P-11 上下顎義歯治療により口腔機能回復を図った一症例**
 ○松田 岳¹⁾、市川 哲雄²⁾
¹⁾徳島大学大学院医歯薬学研究部 総合診療歯科学分野、
²⁾徳島大学大学院医歯薬学研究部 口腔顎顔面補綴学分野
- 認定 P-12 舌再建術後の患者に対して補綴処置を行い機能回復を図った 1 症例**
 ○萬田 陽介、皆木 省吾
 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 咬合・有床義歯補綴学分野
- 認定 P-13 口腔機能低下症患者に対し口腔機能訓練と義歯調整を同時に行い機能改善を認めた一症例**
 ○木山 賢歩、高橋 裕
 福岡歯科大学 咬合修復学講座 有床義歯学分野
- 認定 P-14 認知機能低下の疑いのある患者に対し家族を交えながら義歯の製作および口腔機能の維持・向上を図った症例**
 ○山内 茉椰、上田 貴之
 東京歯科大学 老年歯科補綴学講座
- 認定 P-15 神経変性疾患の病態にあわせてモバイル型軟口蓋挙上装置を作製した症例**
 ○河合 陽介、寺中 智
 足利赤十字病院 リハビリテーション科
- 認定 P-16 長期歯科未受診高齢者において義歯製作により咀嚼機能の向上が得られた一症例**
 ○浅尾 美沙、柏崎 晴彦
 九州大学病院 高齢者歯科・全身管理歯科
- 認定 P-17 脳梗塞後遺症患者の顎位改善により口腔機能の向上が認められた 1 症例**
 ○小林 利也^{1,2)}、鈴木 聡行^{1,3)}
¹⁾藤沢市歯科医師会、²⁾辻堂デンタルクリニック、³⁾鈴木デンタルクリニック
- 認定 P-18 義歯使用経験のない慢性心不全患者に舌圧を参考にして義歯を製作した症例**
 ○陣内 暁夫¹⁾、内藤 徹²⁾
¹⁾医療法人井上会篠栗病院歯科、²⁾福岡歯科大学 総合歯科学講座 高齢者歯科学分野
- 認定 P-19 骨吸収抑制薬関連顎骨壊死を発生した要介護高齢者に対し訪問歯科診療にて義歯を作製した症例**
 ○堤 康史郎¹⁾、柏崎 晴彦²⁾
¹⁾医療法人福北会 原町歯科・小児歯科医院、
²⁾九州大学大学院歯学研究院 口腔顎顔面病態学講座 高齢者歯科学・全身管理歯科学分野

- 認定 P-20 長期歯科未受診高齢者に対して周術期口腔機能管理を行い、咀嚼機能が改善した一症例
○水谷 慎介、柏崎 晴彦
九州大学大学院歯学研究院 高齢者歯科学・全身管理歯科学分野
- 認定 P-21 2年以上歯周病安定期治療を行い、パーキンソン病の悪化により訪問歯科診療に移行した1症例
○徳倉 圭、玄 景華
朝日大学医科歯科医療センター 障害者歯科
- 認定 P-22 成人T細胞白血病・リンパ腫を有する高齢患者の全身状態に配慮してインプラント上部構造を改変した一症例
○川野 弘道¹⁾、市川 哲雄²⁾
¹⁾ 徳島大学病院 口腔インプラントセンター、²⁾ 徳島大学大学院医歯薬学研究所 口腔顎顔面補綴学分野
- 認定 P-23 統合失調症患者のオーラルジスキネジアによる褥瘡性潰瘍に対応した一例
○川谷 久子¹⁾、両角 祐子²⁾
¹⁾ 日本歯科大学新潟病院 訪問歯科口腔ケア科、²⁾ 日本歯科大学新潟生命歯学部 歯周病学講座
- 認定 P-24 喉頭全摘術が適応であった誤嚥性肺炎を繰り返すパーキンソン病患者の一例
○川勝 美里¹⁾、戸原 玄²⁾
¹⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野、
²⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野
- 認定 P-25 ALS患者に対し歯科補綴的アプローチを行った後多職種が協力して経口摂取を維持している一症例
○樋口 和徳¹⁾、松尾 浩一郎²⁾
¹⁾ みんなの歯医者さん、²⁾ 東京医科歯科大学大学院 地域・福祉口腔機能管理学分野
- 認定 P-26 薬剤関連顎骨壊死からの出血に対しICTを活用して対応した在宅療養患者の1例
○赤泊 圭太¹⁾、両角 祐子²⁾
¹⁾ 日本歯科大学新潟病院 訪問歯科口腔ケア科、²⁾ 日本歯科大学新潟生命歯学部 歯周病学講座
- 認定 P-27 NST介入による多職種連携を行い食事摂取量の改善が得られた症例
○戸谷 麻衣子^{1,2)}、鎌田 政善³⁾
¹⁾ 公益財団法人老年病研究所附属病院 歯科・歯科口腔外科、
²⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 法歯学分野、³⁾ とちはら歯科
- 認定 P-28 重度糖尿病を有する高齢肺癌患者の化学療法において、複数科医師と連携し周術期等口腔管理が奏功した一例
○中島 正人、高橋 裕
福岡歯科大学 総合歯科学講座 訪問歯科センター
- 認定 P-29 脳梗塞既往の重度摂食嚥下障害患者に対し多職種が連携し栄養介入と看取りに携わった症例
○井藤 克美¹⁾、高橋 浩二²⁾
¹⁾ アベックスメディカル・デンタルクリニック、
²⁾ 昭和大学歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座 口腔リハビリテーション医学部門
- 認定 P-30 口腔機能低下に関心のない高齢者に対し口腔機能訓練および管理栄養士と連携した生活習慣の指導を行った症例
○藤野 亜紀、上田 貴之
東京歯科大学 老年歯科補綴学講座

認定 P-31 訪問看護師との連携により在宅訪問診療にて経口摂取が可能となった一症例

○三浦 慶奈、大久保 真衣

東京歯科大学 口腔健康科学講座 摂食嚥下リハビリテーション研究室

摂食機能療法専門歯科医師審査 / 更新ポスター

オンデマンド

審査

摂食 P-01 多系統萎縮症の症状進行に応じた摂食嚥下リハビリテーションを実施した一症例

○山口 浩平

東京医科歯科大学大学院 摂食嚥下リハビリテーション学分野

摂食 P-02 経口摂取を禁止された筋萎縮性側索硬化症の患者に対して摂食機能療法を行い、安全な経口摂取を支援した症例

○佐川 敬一郎

日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック

摂食 P-03 放射線治療中に嚥下障害を生じた下咽頭癌患者に終末期まで関与した一症例

○鰐原 賀子

日本歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科

摂食 P-04 頭部外傷後の患者に対し在宅で摂食嚥下リハビリテーションを行い、経口摂取を確立できた症例

○吉見 佳那子

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野

摂食 P-05 多職種連携で食支援を行い経口摂取再開となった神経筋疾患の症例

○古屋 裕康^{1,2)}

¹⁾ 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック、²⁾ 日本歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科

摂食 P-06 摂食嚥下リハビリテーション介入によってサルコペニアの進行予防が可能であった症例

○新藤 広基

日本歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科

摂食 P-07 下顎骨病的骨折後治癒不全にて長期経過観察中に摂食嚥下障害をきたした一症例

○岩田 雅裕^{1,2)}

¹⁾ サンズデンタルクリニック、²⁾ 宇治徳洲会病院 口腔外科

摂食 P-08 家族による虐待を疑われた在宅要介護高齢患者に対する多職種連携による誤嚥性肺炎の予防の取り組み

○礪田 友子^{1,2)}

¹⁾ 日本歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科、²⁾ 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック

摂食 P-09 ワレンベルグ症候群発症後、長期間非経口摂取だった患者に対して摂食嚥下リハビリテーションを行った一例

○小川 奈美

坂上デンタルオフィス

更新

- 摂食 P-10 **摂食機能療法専門歯科医師としての国内、国外における地域・社会貢献**
○松尾 浩一郎
藤田医科大学医学部 歯科・口腔外科学講座
- 摂食 P-11 **地域包括ケアシステムの実現に向けて食支援を通して医科歯科連携を推進した活動の報告**
○齋藤 貴之
ごはんがたべたい歯科クリニック
- 摂食 P-12 **摂食機能療法専門歯科医師としての活動：薬剤師のためのフィジカルアセスメント講習会での活動**
○久松 徳子
長崎大学病院
- 摂食 P-13 **口腔保健・健康長寿推進センター（DEMCOP）における摂食嚥下障害に対する実践的教育システム**
○藤井 航
九州歯科大学口腔保健学科 多職種連携教育ユニット
- 摂食 P-14 **サルコペニアによる嚥下障害患者に対する多職種連携の一例**
○中山 洵利
日本大学歯学部 摂食機能療法学講座
- 摂食 P-15 **摂食機能療法専門歯科医師としての地域での活動**
○尾崎 由衛
歯科医院 丸尾崎
- 摂食 P-16 **コロナ禍におけるオンラインを用いた経口維持の支援について**
○中根 綾子
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野
- 摂食 P-17 **当院における医療スタッフへの教育活動と地域連携に関する取り組み**
○平塚 正雄
医療法人博仁会 福岡リハビリテーション病院 歯科
- 摂食 P-18 **多職種を対象とした摂食嚥下リハビリテーションに関する教育活動**
○古屋 純一
昭和大学歯学部 高齢者歯科学講座
- 摂食 P-19 **左側頬粘膜ガン術後患者の摂食嚥下障害に対する長期的アプローチ**
○吉川 峰加
広島大学大学院医系科学研究科 先端歯科補綴学
- 摂食 P-20 **唾液の貯留による会話障害と流涎を認めた高齢患者に対し各種の訓練が奏効した症例**
○山崎 裕
北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室
- 摂食 P-21 **摂食機能療法専門歯科医師取得後の活動報告**
○加藤 喜久
みずほ内科・歯科クリニック

摂食 P-22 当院における摂食嚥下支援チームの設立と臨床検討

- 谷口 裕重
朝日大学 摂食嚥下リハビリテーション学分野

摂食 P-23 摂食機能療法専門歯科医師としてかかわった特別養護老人ホームでのミールラウンド

- 石川 健太郎
昭和大学歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座 口腔衛生学部門

摂食 P-24 誤嚥を繰り返しながらも在宅で安全に食事摂取ができるよう入院嚥下リハを行った一例

- 元橋 靖友
社会医療法人財団大和会 武蔵村山病院 歯科

摂食 P-25 在宅での経口摂取継続を希望された進行性核上性麻痺患者の一例

- 村田 尚道
医療法人 湧泉会 ひまわり歯科

摂食 P-26 福岡摂食嚥下サポート研究会の活動と課題

- 岩佐 康行
原土井病院

摂食 P-27 長期に関わったアルツハイマー病患者に対する摂食嚥下リハビリテーションの1例

- 安田 順一
朝日大学歯学部 口腔病態医療学講座 障害者歯科学分野

摂食 P-28 摂食機能療法専門歯科医師としての活動報告

- 高橋 一也
大阪歯科大学 高齢者歯科学講座

摂食 P-29 地域歯科保健医療センターにおける摂食嚥下障害患者支援への取り組み

- 福井 智子
杉並区歯科保健医療センター

摂食 P-30 嚥下恐怖を訴えた患者に対し嚥下障害の原因を明らかにし支援した1症例

- 保母 妃美子
日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック

摂食 P-31 多職種カンファレンスにて薬剤性嚥下障害を指摘した2例

- 梅本 丈二
福岡大学病院摂食嚥下センター

摂食 P-32 地区口腔保健センターにおける摂食機能療法専門歯科医師の取り組み

- 村田 志乃^{1,2)}
¹⁾ 渋谷区口腔保健支援センター プラザ歯科診療所、²⁾ 悠翔会在宅クリニック 歯科診療部

摂食 P-33 With コロナ時代におけるオンラインでのミールラウンドと多職種参加カンファレンスの取り組み

- 戸原 雄
日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック

- 摂食 P-34 摂食嚥下支援を目的とした歯科大学附属クリニックの現状と地域活動
○菊谷 武
日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック
- 摂食 P-35 クモ膜下出血発症後の患者において、退院後の在宅療養に関わり経口摂取を多職種と可能にした事例
○花形 哲夫
花形歯科
- 摂食 P-36 某特別養護老人ホームにおける摂食機能評価の取り組みについて
○佐々木 力丸
日本歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科
- 摂食 P-37 歯科を併設していない急性期病院におけるシームレスな病診連携を確立するための取り組み
○高橋 賢晃
日本歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科
- 摂食 P-38 行政と連携した障害者地域活動ホームにおける摂食嚥下指導
○菅 武雄
鶴見大学歯学部 高齢者歯科学講座
- 摂食 P-39 某県歯科医師会会員に対する在宅支援実習の取り組み
○弘中 祥司
昭和大学歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座 口腔衛生学部門
- 摂食 P-40 スタディグループ「TUNAGERD 会」の活動
○若杉 葉子
医療法人社団悠翔会 悠翔会在宅クリニック歯科診療部
- 摂食 P-41 歯科訪問診療の臨床と教育に役立つ学習支援の試み
○中川 量晴
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野
- 摂食 P-42 嚥下障害を合併した進行性核上性麻痺患者の在宅で嚥下機能評価を行った1例
○玄 景華
朝日大学歯学部 口腔病態医療学講座 障害者歯科学分野

第32回日本老年学会（総会）のご案内

会 期：2021年6月11日（金）～27日（日）オンデマンド配信

共催学会：

第32回日本老年学会総会

井口昭久（名古屋大学名誉教授・愛知淑徳大学教授）

第63回日本老年医学会学術集会

葛谷雅文（名古屋大学大学院医学系研究科地域在宅医療学・老年科学教授）

第63回日本老年社会科学学会大会

近藤克則（国立長寿医療研究センター老年学・社会科学研究センター／千葉大学予防医学センター）

第44回日本基礎老化学会大会

丸山光生（国立長寿医療研究センター老化機構研究部副所長・老化機構研究部長）

第32回日本老年歯科医学会学術大会

河相安彦（日本大学松戸歯学部教授）

第20回日本ケアマネジメント学会研究大会

岡田進一（大阪市立大学大学院生活科学研究科研究科長）

第26回日本老年看護学会学術集会

北川公子（共立女子大学看護学部教授）

会長講演

「成熟社会への課題—高齢者は幸福になったか—」

LIVE 6月11日（金） 12:50-13:20

座長：北 徹（神戸市看護大学 理事長）

演者：井口 昭久（名古屋大学 名誉教授 / 愛知淑徳大学 教授）

特別講演 1

「生きる日々と短歌—「いのちの一秒」を歌いとどめる」

LIVE 6月11日（金） 13:30-14:20

座長：大島 伸一（国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総長 / 公益財団法人長寿科学振興財団 理事長）

演者：島田 修三（愛知淑徳大学 学長）

特別講演 2

「睡眠覚醒の謎に挑む～原理の追求から社会実装まで～」

LIVE 6月12日(土) 11:10-12:00

座長：荻原 俊男 (森ノ宮医療大学 名誉学長)

演者：柳沢 正史 (筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構 機構長)

特別講演 3

「Disaster resilience in an aging society : Lessons from the Great East Japan Earthquake and Tsunami」

LIVE 6月13日(日) 11:10-12:00

座長：近藤 克則 (国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 老年学評価研究部長 / 千葉大学 予防医学センター 教授)

演者：Kawachi Ichiro (Harvard University)

市民公開講座

第1部「with コロナ時代健やかに生き抜くために」

LIVE 6月13日(日) 14:00-15:00

司会：重盛 啓之 (株式会社 CBC テレビ アナウンサー)

演者：大島 伸一 (公益財団法人長寿科学振興財団 理事長)
長谷川 敏彦 (一般社団法人未来医療研究機構 代表理事)

市民公開講座

第2部「健康寿命の秘訣を教えます」

LIVE 6月13日(日) 15:00-16:30

座長：井口 昭久 (名古屋大学 名誉教授 / 愛知淑徳大学 教授)
鈴木 隆雄 (桜美林大学 老年学総合研究所 所長)

演者：荒井 秀典 (国立長寿医療研究センター 理事長)
平野 浩彦 (東京都健康長寿医療センター 歯科口腔外科 部長)
安野 史彦 (国立長寿医療研究センター 精神科 精神科部長)
藤原 佳典 (東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 研究部長)

合同シンポジウム 1

「介護保険制度発足から 20 年—高齢者は幸せになったか—」

LIVE 6月11日(金) 9:30-11:30

座長：川島 和代 (石川県立看護大学看護学部 教授)
服部 万里子 (服部メディカル研究所 所長)

演者：辻 一郎 (東北大学大学院医学系研究科 公衆衛生学分野 教授)
杉澤 秀博 (桜美林大学大学院 教授)
阪口 英夫 (医療法人永寿会 陵北病院 副院長)
石山 麗子 (国際医療福祉大学大学院 教授)
川島 和代 (石川県立看護大学看護学部 教授)

合同シンポジウム 2

「高齢者 / 認知症の人に優しいまちづくり」

LIVE 6月11日(金) 9:30-11:30

座長：尾島 俊之 (浜松医科大学健康社会医学講座 教授)
落久保 裕之 (医療法人裕心会 落久保外科循環器内科クリニック 院長)

演者：武地 一 (藤田医科大学医学部認知症・高齢診療科 教授)
数井 裕光 (高知大学医学部 神経精神科学講座 教授)
鄭 丞媛 (新見公立大学健康科学部地域福祉学科 / 国立長寿医療研究センター老年社会科学部)
枝広 あや子 (東京都健康長寿医療センター研究所自立促進と精神保健研究チーム認知症と精神保健 研究員)
奥田 龍人 (NPO 法人シーズネット 理事長)

合同シンポジウム 3

「老年学における実装研究の可能性—社会的処方箋を例に」

LIVE 6月11日(金) 9:30-11:30

座長：近藤 尚己 (京都大学大学院医学研究科 社会疫学分野 教授)
松尾 浩一郎 (東京医科歯科大学大学院 地域・福祉口腔機能管理学分野 教授)

演者：山田 実 (筑波大学人間系 教授)
長嶺 由衣子 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 介護・在宅医療連携システム開発学講座 助教)
松尾 浩一郎 (東京医科歯科大学大学院 地域・福祉口腔機能管理学分野 教授)
山川 みやえ (大阪大学大学院医学系研究科 老年看護学研究室 / 公益財団法人浅香山病院 准教授)

合同シンポジウム 4

「認知症の発症や予後に影響を及ぼす栄養・食事について考える」

LIVE 6月11日(金) 15:10-17:10

座長： 山田 律子 (北海道医療大学看護福祉学部看護学科 教授)
菊谷 武 (日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック 教授・院長)

演者： 櫻井 孝 (国立長寿医療研究センター もの忘れセンター長)
津田 玲生 (国立長寿医療研究センター認知症先進医療開発センター創薬モデル動物開発室 室長)
山田 律子 (北海道医療大学看護福祉学部看護学科 教授)
菊谷 武 (日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック 教授・院長)

合同シンポジウム 5

「何とかしてよ、ポリファーマシー！」—適正化の処方箋はある！？—

LIVE 6月11日(金) 15:10-17:10

座長： 秋下 雅弘 (東京大学大学院医学系研究科老年病学 教授)
淵田 英津子 (名古屋大学大学院医学系研究科老年看護学 准教授)

演者： 小島 太郎 (東京大学医学部附属病院老年病科 講師)
野原 幹司 (大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能治療学教室)
水上 勝義 (筑波大学大学院人間総合科学学術院 教授)
長瀬 亜岐 (日本生命病院 看護部)

合同シンポジウム 6

「AIは超高齢者社会を救うか」

LIVE 6月11日(金) 15:10-17:10

座長： 平野 浩彦 (東京都健康長寿医療センター 歯科口腔外科 部長・研究所研究部長)
稲葉 陽二 (東京都健康長寿医療センター研究所 非常勤講師)

演者： 亀山 祐美 (東京大学医学部附属病院 老年病科 特任講師)
稲葉 陽二 (東京都健康長寿医療センター研究所 非常勤講師)
金澤 学 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野 講師)
米澤 麻子 (NTT データ経営研究所 アソシエイトパートナー)

合同シンポジウム 7

「一人暮らし高齢者の生活を支える」

LIVE 6月12日(土) 9:00-11:00

座長： 福富 昌城 (花園大学 教授)
斎藤 民 (国立長寿医療研究センター老年社会科学研究部 部長)

演者： 神田 茂 (南医療生協かなめ病院／南医療生活協同組合理事 院長)
斎藤 民 (国立長寿医療研究センター老年社会科学研究部 部長)
神谷 良子 (NPO 法人 神戸ライフ・ケア協会 理事長)
池田 学 (大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室 教授)

合同シンポジウム 8

「健康寿命延伸に向けたフレイル・サルコペニア対策 —研究成果から政策へのメッセージ—」

LIVE 6月12日(土) 9:00-11:00

- 座長：鳥羽 研二 (東京都健康長寿医療センター 理事長)
細山 徹 (国立長寿医療研究センター 再生再建医学研究部 室長)
- 演者：金 憲経 (東京都健康長寿医療センター研究所自立促進と精神保健研究チーム 研究部長)
町田 修一 (順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科 教授)
植木 浩二郎 (国立国際医療研究センター研究所糖尿病研究センター)
渡邊 裕 (北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室 准教授)

合同シンポジウム 9

「多死社会におけるエンドオブライフ・ケアを考える —ACPは高齢者を幸せにするか—」

LIVE 6月12日(土) 13:20-15:20

- 座長：白木 裕子 (一般社団法人日本ケアマネジメント学会 副理事長)
高梨 早苗 (国立長寿医療研究センター)
- 演者：三浦 久幸 (国立長寿医療研究センター在宅医療・地域医療連携推進部 部長)
糸田 昌隆 (大阪歯科大学口腔リハビリテーション科 教授)
篠田 道子 (日本福祉大学社会福祉学部 教授)
桑田 美代子 (医療法人社団慶成会青梅慶友病院 看護介護開発室長)
高砂 裕子 (一般社団法人南区医師会 居宅介護支援センター 管理者)

合同シンポジウム 10

「社会的フレイル」の概念および研究と社会実装」

LIVE 6月12日(土) 13:20-15:20

- 座長：藤原 佳典 (東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム 研究部長)
遠藤 英俊 (聖路加国際大学)
- 演者：小嶋 雅代 (国立長寿医療研究センター フレイル研究部)
古谷野 亘 (聖学院大学心理福祉学部 特任教授)
古屋 純一 (昭和大学歯学部 高齢者歯科学講座 准教授)
栗田 主一 (東京都健康長寿医療センター研究所 副所長)

合同シンポジウム 11

「社会的孤立、8050問題、高齢者虐待—多様化・複雑化する老いと家族に向き合う—」

LIVE 6月12日(土) 15:30-17:30

- 座長：田高 悦子 (北海道大学大学院保健科学研究院 教授)
斉藤 雅茂 (日本福祉大学社会福祉学部 准教授)

- 演者：小宮 仁 (名古屋大学医学部附属病院地域連携・患者相談センター 病院講師)
齊藤 雅茂 (日本福祉大学社会福祉学部 准教授)
高田 靖 (公益社団法人 東京都豊島区歯科医師会 副会長)
吉川 悠貴 (東北福祉大学総合福祉学部/認知症介護研究・研修仙台センター 准教授/研究部長)

合同シンポジウム 12

「栄養と健康寿命の延伸に関する研究：基礎から疫学まで」

LIVE 6月12日(土) 15:30-17:30

- 座長：丸山 光生 (国立長寿医療研究センター研究所ジェロサイエンス研究センター 部長)
下方 浩史 (名古屋学芸大学大学院栄養科学研究科 教授)
- 演者：新開 省二 (女子栄養大学栄養学部地域保健・老年学研究室 教授)
大野 博司 (国立研究開発法人理化学研究所 生命医科学研究センター粘膜システム チームリーダー)
赤木 一考 (富山大学未病研究センター)
池邊 一典 (大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能再建学講座 有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野 教授)

合同シンポジウム 13

「ウィズ・アフターコロナ時代の高齢社会の展望」

LIVE 6月13日(日) 9:00-11:00

- 座長：神崎 恒一 (杏林大学医学部高齢医学 教授)
酒井 郁子 (千葉大学大学院看護学研究院先端実践看護学研究部門 教授)
- 演者：飯島 勝矢 (東京大学高齢社会総合研究機構/未来ビジョン研究センター 教授)
澤岡 詩野 (公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団 主任研究員)
錦見 昭彦 (国立長寿医療研究センターバイオセーフティ管理室 室長)
戸原 玄 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 医歯学系専攻老化制御学講座 摂食嚥下リハビリテーション学分野 教授)
相田 里香 (介護サービス青い鳥合同会社)
酒井 郁子 (千葉大学大学院看護学研究科 教授)
橋本 衛 (大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室 准教授)

合同シンポジウム 14

「口腔衛生管理と誤嚥性肺炎 ―医・歯・看・介 連携について考える―」

LIVE 6月13日(日) 9:00-11:00

- 座長：米山 武義 (米山歯科クリニック 院長)
千葉 由美 (横浜市立大学大学院医学研究科 看護学専攻 教授)
- 演者：海老原 覚 (東邦大学大学院医学研究科 リハビリテーション医学講座 教授)
岩佐 康行 (原土井病院 副院長 歯科部長)
村松 真澄 (札幌市立大学 看護学部 准教授)

合同シンポジウム 15

「高齢者と運転 —ハンドルの重みと自立のはざままで—」

LIVE 6月13日(日) 13:20-15:20

座長：荒井 秀典 (国立長寿医療研究センター 理事長)
三村 将 (慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室 教授)

演者：青木 宏文 (名古屋大学未来社会創造機構 モビリティ社会研究所 企画戦略室長)
富本 秀和 (三重大学大学院医学系研究科 神経病態内科学 教授)
島田 裕之 (国立長寿医療研究センター老年学・社会科学研究センター)
三村 将 (慶應義塾大学医学部精神・神経科 教授)
三重 野英子 (大分大学医学部看護学科 教授)

合同シンポジウム 16

「老化の統合的理解を目指したマルチモダリティアプローチ」

LIVE 6月13日(日) 13:20-14:50

座長：杉本 昌隆 (国立長寿医療研究センター)
森下 竜一 (大阪大学大学院医学系研究科 寄附講座教授)

演者：林 登志雄 (名古屋大学大学院医学系研究科 総合保健学専攻 教授)
中神 啓徳 (大阪大学大学院医学系研究科 健康発達医学)
中西 真 (東京大学医科学研究所癌防御シグナル 教授)
近藤 祥司 (京都大学医学部附属病院高齢者医療ユニット 准教授)

合同シンポジウム 17

「災害時の高齢者対応 —その時が来る前に—」

LIVE 6月13日(日) 15:30-17:30

座長：佐々木 啓一 (東北大学大学院歯学研究科 副学長(共創戦略担当)・教授)
古川 勝敏 (東北医科薬科大学医学部 地域医療学 教授)

演者：相田 潤 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 健康推進歯学分野 教授)
石木 愛子 (東北医科薬科大学病院加齢・老年病科 院内講師)
田子 久夫 (公益財団法人磐城済世会舞子浜病院精神科 名誉院長)
田中 彰 (日本歯科大学新潟生命歯学部 口腔外科学講座 教授)
松岡 千代 (甲南女子大学看護リハビリテーション学部看護学科 教授)
矢吹 知之 (東北福祉大学/認知症介護研究・研修仙台センター 准教授)